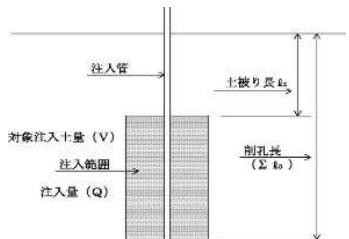
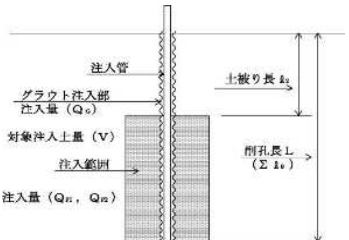
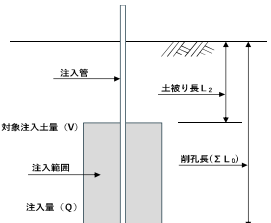
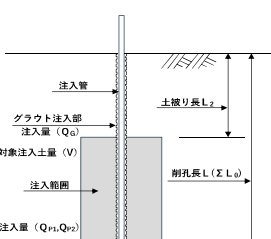


工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正				改 正																																																																																																																																																																																																					
						現 行																																																																																																																																																																																																					
現 行						改 正						備 考																																																																																																																																																																																															
3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。 表3. 1 二重管ストレナーナ工法の機種の選定 <table><tr><th rowspan="3">機 種</th><th rowspan="3">規 格</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="2">数 量</th><th rowspan="3">摘 要</th></tr><tr><th colspan="2">複 相 方 式</th></tr><tr><th>2 セット</th><th>4 セット</th></tr><tr><td>ボーリングマシン</td><td>油圧式 5.5kW 級</td><td>台</td><td>2</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>薬 液 注 入 ポ ン プ</td><td>吐出量 5～20ℓ／min×2 (圧力 9.8MPa)</td><td>〃</td><td>2</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>水ガラス積算流量計</td><td>0～50ℓ／min</td><td>〃</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(注)2</td></tr></table> (注) 1. 施工本数が 100 本未満の場合は 2 セット、100 本以上の場合は 4 セットを標準とする。 2. 水ガラス積算流量計は、総注入量 500kℓ 以上に計上する。 表3. 2 二重管ダブルバックカー工法の機種の選定 <table><tr><th rowspan="4">機 種</th><th rowspan="4">規 格</th><th rowspan="4">単位</th><th colspan="5">数 量</th><th rowspan="4">摘 要</th></tr><tr><th colspan="2" rowspan="2">削 孔</th><th colspan="3">一次注入</th></tr><tr><th>セメント</th><th>溶 液 型</th><th>溶 液 型</th></tr><tr><th>1セット</th><th>2セット</th><th>4セット</th><th>有機系注入</th><th>無機系注入</th></tr><tr><td>ボーリングマシン</td><td>ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kW 級</td><td>台</td><td>1</td><td>2</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>薬液注入ポンプ</td><td>吐出量 0～20ℓ／min×2 (圧力 9.8MPa)</td><td>〃</td><td>—</td><td>—</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>ゲルミキサー</td><td>300ℓ×1槽</td><td>〃</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>ミキシングプラント</td><td>3,000ℓ／h</td><td>〃</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>水ガラス積算流量計</td><td>0～50ℓ／min</td><td>〃</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(注)2</td></tr></table> (注) 1. 削孔は施工本数が 200 本未満の場合は 1 セット、200 本以上の場合は 2 セットを標準とする。 2. 水ガラス積算流量計は、総注入量 500kℓ 以上に計上する。						機 種	規 格	単位	数 量		摘 要	複 相 方 式		2 セット	4 セット	ボーリングマシン	油圧式 5.5kW 級	台	2	4		薬 液 注 入 ポ ン プ	吐出量 5～20ℓ／min×2 (圧力 9.8MPa)	〃	2	4		水ガラス積算流量計	0～50ℓ／min	〃	(1)	(1)	(注)2	機 種	規 格	単位	数 量					摘 要	削 孔		一次注入			セメント	溶 液 型	溶 液 型	1セット	2セット	4セット	有機系注入	無機系注入	ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kW 級	台	1	2	—	—	—		薬液注入ポンプ	吐出量 0～20ℓ／min×2 (圧力 9.8MPa)	〃	—	—	2	2	2		ゲルミキサー	300ℓ×1槽	〃	—	—	—	1	—		ミキシングプラント	3,000ℓ／h	〃	—	—	—	—	1		水ガラス積算流量計	0～50ℓ／min	〃	—	—	—	(1)	(1)	(注)2	3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。 表3. 1 二重管ストレナーナ工法の機種の選定 <table><tr><th rowspan="3">機 種</th><th rowspan="3">規 格</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="2">数 量</th><th rowspan="3">摘 要</th></tr><tr><th colspan="2">複 相 方 式</th></tr><tr><th>2 セット</th><th>4 セット</th></tr><tr><td>ボーリングマシン</td><td>油圧式 通称 5.5kW 級</td><td>台</td><td>2</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>薬 液 注 入 ポ ン プ</td><td>吐出量 5～20ℓ／min×2 (圧力 9.8MPa)</td><td>〃</td><td>2</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>水ガラス積算流量計</td><td>最大流量 〇50ℓ／min</td><td>〃</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(注)2</td></tr></table> (注) 1. 施工本数が 100 本未満の場合は 2 セット、100 本以上の場合は 4 セットを標準とする。 2. 水ガラス積算流量計は、総注入量 500kℓ 以上に計上する。 表3. 2 二重管ダブルバックカー工法の機種の選定 <table><tr><th rowspan="4">機 種</th><th rowspan="4">規 格</th><th rowspan="4">単位</th><th colspan="5">数 量</th><th rowspan="4">摘 要</th></tr><tr><th colspan="2" rowspan="2">削 孔</th><th colspan="3">一次注入</th></tr><tr><th>セメント</th><th>溶 液 型</th><th>溶 液 型</th></tr><tr><th>1セット</th><th>2セット</th><th>4セット</th><th>有機系注入</th><th>無機系注入</th></tr><tr><td>ボーリングマシン</td><td>ロータリーパーカッション式 クローラ型 通称81kW 級</td><td>台</td><td>1</td><td>2</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>薬液注入ポンプ</td><td>吐出量 0～20ℓ／min×2 (圧力 9.8MPa)</td><td>〃</td><td>—</td><td>—</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>ゲルミキサー</td><td>タンク容量300ℓ×1槽</td><td>〃</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>ミキシングプラント</td><td>プラント稼働能力 3,000ℓ／h</td><td>〃</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>水ガラス積算流量計</td><td>最大流量 〇50ℓ／min</td><td>〃</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(注)2</td></tr></table> (注) 1. 削孔は施工本数が 200 本未満の場合は 1 セット、200 本以上の場合は 2 セットを標準とする。 2. 水ガラス積算流量計は、総注入量 500kℓ 以上に計上する。						機 種	規 格	単位	数 量		摘 要	複 相 方 式		2 セット	4 セット	ボーリングマシン	油圧式 通称 5.5kW 級	台	2	4		薬 液 注 入 ポ ン プ	吐出量 5～20ℓ／min×2 (圧力 9.8MPa)	〃	2	4		水ガラス積算流量計	最大流量 〇 50ℓ／min	〃	(1)	(1)	(注)2	機 種	規 格	単位	数 量					摘 要	削 孔		一次注入			セメント	溶 液 型	溶 液 型	1セット	2セット	4セット	有機系注入	無機系注入	ボーリングマシン	ロータリー パーカッション式 クローラ型 通称 81kW 級	台	1	2	—	—	—		薬液注入ポンプ	吐出量 0～20ℓ／min×2 (圧力 9.8MPa)	〃	—	—	2	2	2		ゲルミキサー	タンク容量 300ℓ×1槽	〃	—	—	—	1	—		ミキシングプラント	プラント稼働能力 3,000ℓ／h	〃	—	—	—	—	1		水ガラス積算流量計	最大流量 〇 50ℓ／min	〃	—	—	—	(1)	(1)	(注)2	記載の修正・削除 (歩掛改訂に伴う)	
機 種	規 格	単位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																																																						
			複 相 方 式																																																																																																																																																																																																								
			2 セット	4 セット																																																																																																																																																																																																							
ボーリングマシン	油圧式 5.5kW 級	台	2	4																																																																																																																																																																																																							
薬 液 注 入 ポ ン プ	吐出量 5～20ℓ／min×2 (圧力 9.8MPa)	〃	2	4																																																																																																																																																																																																							
水ガラス積算流量計	0～50ℓ／min	〃	(1)	(1)	(注)2																																																																																																																																																																																																						
機 種	規 格	単位	数 量					摘 要																																																																																																																																																																																																			
			削 孔		一次注入																																																																																																																																																																																																						
					セメント	溶 液 型	溶 液 型																																																																																																																																																																																																				
			1セット	2セット	4セット	有機系注入	無機系注入																																																																																																																																																																																																				
ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kW 級	台	1	2	—	—	—																																																																																																																																																																																																				
薬液注入ポンプ	吐出量 0～20ℓ／min×2 (圧力 9.8MPa)	〃	—	—	2	2	2																																																																																																																																																																																																				
ゲルミキサー	300ℓ×1槽	〃	—	—	—	1	—																																																																																																																																																																																																				
ミキシングプラント	3,000ℓ／h	〃	—	—	—	—	1																																																																																																																																																																																																				
水ガラス積算流量計	0～50ℓ／min	〃	—	—	—	(1)	(1)	(注)2																																																																																																																																																																																																			
機 種	規 格	単位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																																																						
			複 相 方 式																																																																																																																																																																																																								
			2 セット	4 セット																																																																																																																																																																																																							
ボーリングマシン	油圧式 通称 5.5kW 級	台	2	4																																																																																																																																																																																																							
薬 液 注 入 ポ ン プ	吐出量 5～20ℓ／min×2 (圧力 9.8MPa)	〃	2	4																																																																																																																																																																																																							
水ガラス積算流量計	最大流量 〇 50ℓ／min	〃	(1)	(1)	(注)2																																																																																																																																																																																																						
機 種	規 格	単位	数 量					摘 要																																																																																																																																																																																																			
			削 孔		一次注入																																																																																																																																																																																																						
					セメント	溶 液 型	溶 液 型																																																																																																																																																																																																				
			1セット	2セット	4セット	有機系注入	無機系注入																																																																																																																																																																																																				
ボーリングマシン	ロータリー パーカッション式 クローラ型 通称 81kW 級	台	1	2	—	—	—																																																																																																																																																																																																				
薬液注入ポンプ	吐出量 0～20ℓ／min×2 (圧力 9.8MPa)	〃	—	—	2	2	2																																																																																																																																																																																																				
ゲルミキサー	タンク容量 300ℓ×1槽	〃	—	—	—	1	—																																																																																																																																																																																																				
ミキシングプラント	プラント稼働能力 3,000ℓ／h	〃	—	—	—	—	1																																																																																																																																																																																																				
水ガラス積算流量計	最大流量 〇 50ℓ／min	〃	—	—	—	(1)	(1)	(注)2																																																																																																																																																																																																			
II-2-⑫-2								記載の修正・削除 (歩掛改訂に伴う)																																																																																																																																																																																																			
積算上の注意事項								(控え頁) 1／14																																																																																																																																																																																																			

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																							
現 行	改 正	備 考																																							
図3. 1 施工図(二重管ストレーナ工法)  図3. 2 施工図(二重管ダブルバッカー工法)  4. 編 成 人 員 薬液注入工の日当り編成人員は、次表を標準とする。 表4. 1 二重管ストレーナ工法の日当り編成人員 (人/日) <table><tr><th>工 法</th><th>セット数</th><th>土木一般世話役</th><th>特殊作業員</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td rowspan="2">複 相 方 式</td><td>2セット</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>4セット</td><td>1</td><td>6</td><td>2</td></tr></table> 表4. 2 二重管ダブルバッカー工法の日当り編成人員 (人/日) <table><tr><th>条 件</th><th>セット数</th><th>土木一般世話役</th><th>特殊作業員</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td rowspan="2">削 孔 時</td><td>1セット</td><td>1</td><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td>2セット</td><td>1</td><td>5</td><td>2</td></tr><tr><td>一次注入時</td><td>4セット</td><td>1</td><td>5</td><td>2</td></tr><tr><td>二次注入時</td><td>4セット</td><td>1</td><td>5</td><td>2</td></tr></table> (注) 1. 上表は削孔時1セット、2セット分、一次注入時及び二次注入時は4セット分の人員である。 2. 注入材等の混合に要する労務を含む。 II-2-⑫-3	工 法	セット数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	複 相 方 式	2セット	1	3	2	4セット	1	6	2	条 件	セット数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	削 孔 時	1セット	1	3	1	2セット	1	5	2	一次注入時	4セット	1	5	2	二次注入時	4セット	1	5	2	図3. 1 施工図(二重管ストレーナ工法)  図3. 2 施工図(二重管ダブルバッカー工法)  現行どおり	記載の変更 記載の変更	(控え頁) 2/14
工 法	セット数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																					
複 相 方 式	2セット	1	3	2																																					
	4セット	1	6	2																																					
条 件	セット数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																					
削 孔 時	1セット	1	3	1																																					
	2セット	1	5	2																																					
一次注入時	4セット	1	5	2																																					
二次注入時	4セット	1	5	2																																					
積算上の注意事項																																									

改 正 理 由	一部改正	改 正																														
		現 行																														
現 行		改 正		備 考																												
5. 施 工 歩 掛 5-1 二重管ストレーナ工法 (1) 1本当り施工時間 (T₅) 二重管ストレーナ工法における1本当り施工時間は、次式による。 T₅=T₁+T₂+T₃+T₄ T₅:二重管ストレーナ工法1本当り施工時間 (min) T₁:機械準備時間 (min) T₂:削孔時間 (min) T₃:注入時間 (min) T₄:土被り部引抜時間 (min) 1) 機械準備時間 (T₁) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び注入後の器具洗浄時間であり14分とする。 なお、打設間隔は1mを標準とする。 2) 削孔時間 (T₂) T₂=Σ (γ₁×ℓ₀) γ₁:各土質の削孔の単位作業時間 (min/㎡) ℓ₀:各土質毎の削孔長 (m) 表5.1 削孔の単位作業時間(γ₁) (min/㎡) <table><tr><th>土 質</th><th>レ キ 質 土</th><th>砂 質 土</th><th>粘 性 土</th></tr><tr><td>γ₁</td><td>8.0</td><td>5.0</td><td>4.0</td></tr></table> 3) 注入時間 (T₃) T₃=Q_S/q_S Q_S:二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ) q_S:単位時間当り注入量 (ℓ/min) 表5.2 単位時間当り注入量(q_S) (ℓ/min) <table><tr><th>工 法 名</th><th>複 相 方 式</th></tr><tr><td>q_S</td><td>16</td></tr></table> 4) 土被り部引抜時間 (T₄) T₄=γ₂×ℓ₂ γ₂:土被り部引抜の単位作業時間 (min/㎡) ℓ₂:土被り長 (m) 表5.3 土被り部引抜の単位作業時間(γ₂) (min/㎡) <table><tr><td>γ₂</td><td>2.0</td></tr></table> (2) 注入材使用量 二重管ストレーナ工法に必要な使用量は、次式による。 Q_S=V×λ×1,000………式5.1 Q_S:二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ) V:二重管ストレーナ工法の1本当り対象注入土量 (㎡) λ:注入率 (3) 1日当り施工本数 二重管ストレーナ工法における1日当り施工本数は、次式による。 N=60×H/T₅×2 (4) N:2 (4)セット1日当り施工本数 (本/日) H:注入設備の1日当り実作業時間で6.3時間とする。 T₅:1本当り施工時間 (min)		土 質	レ キ 質 土	砂 質 土	粘 性 土	γ ₁	8.0	5.0	4.0	工 法 名	複 相 方 式	q _S	16	γ ₂	2.0	現行どおり 2) 削孔時間 (T₂) T₂=Σ (γ₁×ℓ₀) γ₁:各土質の削孔の単位作業時間 (min/㎡) ℓ₀:各土質毎の削孔長 (m) 表5.1 削孔の単位作業時間(γ₁) (min/㎡) <table><tr><th>土 質</th><th>レ キ 質 土</th><th>砂 質 土</th><th>粘 性 土</th></tr><tr><td>γ₁</td><td>8.0</td><td>5.0</td><td>4.0</td></tr></table> 3) 注入時間 (T₃) T₃=Q_S/q_S Q_S:二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ) q_S:単位時間当り注入量 (ℓ/min) 表5.2 単位時間当り注入量(q_S) (ℓ/min) <table><tr><th>工 法 名</th><th>複 相 方 式</th></tr><tr><td>q_S</td><td>16</td></tr></table> 4) 土被り部引抜時間 (T₄) T₄=γ₂×ℓ₂ γ₂:土被り部引抜の単位作業時間 (min/㎡) ℓ₂:土被り長 (m) 表5.3 土被り部引抜の単位作業時間(γ₂) (min/㎡) <table><tr><td>γ₂</td><td>2.0</td></tr></table> (2) 注入材使用量 二重管ストレーナ工法に必要な使用量は、次式による。 Q_S=V×λ×1,000………式5.1 Q_S:二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ) V:二重管ストレーナ工法の1本当り対象注入土量 (㎡) λ:注入率 現行どおり		土 質	レ キ 質 土	砂 質 土	粘 性 土	γ ₁	8.0	5.0	4.0	工 法 名	複 相 方 式	q _S	16	γ ₂	2.0	記載の変更
土 質	レ キ 質 土	砂 質 土	粘 性 土																													
γ ₁	8.0	5.0	4.0																													
工 法 名	複 相 方 式																															
q _S	16																															
γ ₂	2.0																															
土 質	レ キ 質 土	砂 質 土	粘 性 土																													
γ ₁	8.0	5.0	4.0																													
工 法 名	複 相 方 式																															
q _S	16																															
γ ₂	2.0																															
				記載の変更																												
				記載の変更																												
				記載の変更																												
II-2-⑫-4				記載の変更																												
積算上の注意事項				記載の変更																												
				(控え頁) 3/14																												

工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正		改 正																															
		現 行		現 行																															
現 行				改 正																															
(4) 諸雑費 二重管ストレーナ工法の1本当り諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置、送水ポンプ、送液ポンプの損料、薬液ミキサ、貯水槽の賃料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額（水ガラス積算流量計は除く）に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 表5.4 二重管ストレーナ工法の諸雑費率 (％) <table><tr><th>工 法</th><th>セット数</th><th>諸雑費率</th></tr><tr><td rowspan="2">複 相 方 式</td><td>2</td><td>22</td></tr><tr><td>4</td><td>24</td></tr></table> 5－2 二重管ダブルバッカー工法 (1) 1本当り削孔施工時間（T₀） 二重管ダブルバッカー工法における1本当り削孔施工時間は、次式による。 T₀＝T₁＋T₂＋T₃ T₀：二重管ダブルバッカー工法1本当り削孔時間（min） T₁：機械準備時間（min） T₂：削孔時間（min） T₃：薬液注入管準備時間（min） 1) 機械準備時間（T₁） 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり14分とする。 なお、打設間隔は1mを標準とする。 2) 削孔時間（T₂） 各土質における削孔時間は、次式とする。 T₂＝Σ（γ_i×l₀） γ_i：各土質毎の削孔の単位作業時間（min／m） l₀：各土質毎の削孔長（m） 表5.5 削孔の単位作業時間(γ_i) (min／m) <table><tr><th>土 質</th><th>レキ質土</th><th>砂 質 土</th><th>粘 性 土</th></tr><tr><td>γ_i</td><td>6.0</td><td>5.0</td><td>3.0</td></tr></table> 3) 薬液注入管準備時間（T₃） 薬液注入管準備時間は、グラウト注入、薬液注入管建込及びケーシング引抜時間であり、次式とする。 T₃＝γ₂×L γ₂：薬液注入管準備の単位作業時間（min／m） L：削孔長（m） 表5.6 薬液注入管準備の単位作業時間(γ₂) (min／m) <table><tr><td>γ₂</td><td>3.0</td></tr></table> (2) 1本当り一次注入施工時間（T₀₁） 二重管ダブルバッカー工法における一次注入の1本当り注入施工時間は、次式による。 T₀₁＝T₁＋T₂＋T₃ T₀₁：二重管ダブルバッカー工法一次注入の1本当り注入時間（min） T₁：機械準備時間（min） T₂：注入時間（min） T₃：上破り部引抜時間（min） 1) 機械準備時間（T₁） 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり13分とする。 2) 注入時間（T₂） T₂＝Q₀₁／q₀₁				工 法	セット数	諸雑費率	複 相 方 式	2	22	4	24	土 質	レキ質土	砂 質 土	粘 性 土	γ _i	6.0	5.0	3.0	γ ₂	3.0	現行どおり 2) 削孔時間（T₂） 各土質における削孔時間は、次式とする。 T₂＝Σ（γ_i×l₀） γ_i：各土質毎の削孔の単位作業時間（min／m） l₀：各土質毎の削孔長（m） 表5.5 削孔の単位作業時間(γ_i) (min／m) <table><tr><th>土 質</th><th>レキ質土</th><th>砂 質 土</th><th>粘 性 土</th></tr><tr><td>γ_i</td><td>6.0</td><td>5.0</td><td>3.0</td></tr></table> 現行どおり				土 質	レキ質土	砂 質 土	粘 性 土	γ _i	6.0	5.0	3.0	記載の変更	
工 法	セット数	諸雑費率																																	
複 相 方 式	2	22																																	
	4	24																																	
土 質	レキ質土	砂 質 土	粘 性 土																																
γ _i	6.0	5.0	3.0																																
γ ₂	3.0																																		
土 質	レキ質土	砂 質 土	粘 性 土																																
γ _i	6.0	5.0	3.0																																
II-2-⑫-5																																			
積算上の注意事項				(控え頁)																															
				4／14																															

工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																											
現 行				改 正				備 考																																											
Q_{P1}：二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入量（ℓ） q_{P1}：単位時間当り注入量（ℓ/min） <table><tr><td colspan="2">表5. 7 単位時間当り注入量（q_{P1}）（ℓ/min）</td></tr><tr><td>q_{P1}</td><td>8</td></tr></table> 3）土被り部引抜時間（T_3） $T_3 = \gamma_3 \times \ell_2$ γ_3：土被り部引抜の単位作業時間（min/m） ℓ_2：土被り長（m） <table><tr><td colspan="2">表5. 8 土被り部引抜の単位作業時間（γ_3）（min/m）</td></tr><tr><td>γ_3</td><td>1. 0</td></tr></table> （3）1本当り二次注入施工時間（T_{P2}） 二重管ダブルバッカー工法における二次注入の1本当り注入施工時間は、次式による。 $T_{P2} = T_1 + T_2 + T_3$ T_{P2}：二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入時間（min） T_1：機械準備時間（min） T_2：注入時間（min） T_3：土被り部引抜時間（min） 1）機械準備時間（T_1） 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり13分とする。 2）注入時間（T_2） $T_2 = Q_{P2} / q_{P2}$ Q_{P2}：二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入量（ℓ） q_{P2}：単位時間当り注入量（ℓ/min） <table><tr><td colspan="2">表5. 9 単位時間当り注入量（q_{P2}）（ℓ/min）</td></tr><tr><td>q_{P2}</td><td>9</td></tr></table> 3）土被り部引抜時間（T_3） $T_3 = \gamma_4 \times \ell_2$ γ_4：土被り部引抜の単位作業時間（min/m） ℓ_2：土被り長（m） <table><tr><td colspan="2">表5. 10 土被り部引抜の単位作業時間（γ_4）（min/m）</td></tr><tr><td>γ_4</td><td>1. 0</td></tr></table> （4）注入材料使用量 二重管ダブルバッカー工法における注入材料使用量は、次式による。 1）グラウト注入材料 $Q_G = \gamma_5 \times L$……………式 5. 2 Q_G：グラウト材注入の1本当り注入量（ℓ） γ_5：グラウト材注入の単位使用量（ℓ/m） L：削孔長（m） <table><tr><td colspan="2">表5. 11 グラウト材注入の単位使用量（γ_5）（ℓ/m）</td></tr><tr><td>γ_5</td><td>12</td></tr></table> 2）一次注入材料 $Q_{P1} = V \times \lambda \times 1, 000$……………式 5. 3				表5. 7 単位時間当り注入量（ q_{P1} ）（ ℓ/min ）		q_{P1}	8	表5. 8 土被り部引抜の単位作業時間（ γ_3 ）（ min/m ）		γ_3	1. 0	表5. 9 単位時間当り注入量（ q_{P2} ）（ ℓ/min ）		q_{P2}	9	表5. 10 土被り部引抜の単位作業時間（ γ_4 ）（ min/m ）		γ_4	1. 0	表5. 11 グラウト材注入の単位使用量（ γ_5 ）（ ℓ/m ）		γ_5	12	Q_{P1}：二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入量（ℓ） q_{P1}：単位時間当り注入量（ℓ/min） <table><tr><td colspan="2">表5. 7 単位時間当り注入量（q_{P1}）（ℓ/min）</td></tr><tr><td>q_{P1}</td><td>8</td></tr></table> 3）土被り部引抜時間（T_3） $T_3 = \gamma_3 \times \ell_2$ γ_3：土被り部引抜の単位作業時間（min/m） ℓ_2：土被り長（m） <table><tr><td colspan="2">表5. 8 土被り部引抜の単位作業時間（γ_3）（min/m）</td></tr><tr><td>γ_3</td><td>1. 0</td></tr></table> （3）1本当り二次注入施工時間（T_{P2}） 二重管ダブルバッカー工法における二次注入の1本当り注入施工時間は、次式による。 $T_{P2} = T_1 + T_2 + T_3$ T_{P2}：二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入時間（min） T_1：機械準備時間（min） T_2：注入時間（min） T_3：土被り部引抜時間（min） 1）機械準備時間（T_1） 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり13分とする。 2）注入時間（T_2） $T_2 = Q_{P2} / q_{P2}$ Q_{P2}：二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入量（ℓ） q_{P2}：単位時間当り注入量（ℓ/min） <table><tr><td colspan="2">表5. 9 単位時間当り注入量（q_{P2}）（ℓ/min）</td></tr><tr><td>q_{P2}</td><td>9</td></tr></table> 3）土被り部引抜時間（T_3） $T_3 = \gamma_4 \times \ell_2$ γ_4：土被り部引抜の単位作業時間（min/m） ℓ_2：土被り長（m） <table><tr><td colspan="2">表5. 10 土被り部引抜の単位作業時間（γ_4）（min/m）</td></tr><tr><td>γ_4</td><td>1. 0</td></tr></table> （4）注入材料使用量 二重管ダブルバッカー工法における注入材料使用量は、次式による。 1）グラウト注入材料 $Q_G = \gamma_5 \times L$……………式 5. 2 Q_G：グラウト材注入の1本当り注入量（ℓ） γ_5：グラウト材注入の単位使用量（ℓ/m） L：削孔長（m） <table><tr><td colspan="2">表5. 11 グラウト材注入の単位使用量（γ_5）（ℓ/m）</td></tr><tr><td>γ_5</td><td>12</td></tr></table>				表5. 7 単位時間当り注入量（ q_{P1} ）（ ℓ/min ）		q_{P1}	8	表5. 8 土被り部引抜の単位作業時間（ γ_3 ）（ min/m ）		γ_3	1. 0	表5. 9 単位時間当り注入量（ q_{P2} ）（ ℓ/min ）		q_{P2}	9	表5. 10 土被り部引抜の単位作業時間（ γ_4 ）（ min/m ）		γ_4	1. 0	表5. 11 グラウト材注入の単位使用量（ γ_5 ）（ ℓ/m ）		γ_5	12	現行どおり		記載の変更	
表5. 7 単位時間当り注入量（ q_{P1} ）（ ℓ/min ）																																																			
q_{P1}	8																																																		
表5. 8 土被り部引抜の単位作業時間（ γ_3 ）（ min/m ）																																																			
γ_3	1. 0																																																		
表5. 9 単位時間当り注入量（ q_{P2} ）（ ℓ/min ）																																																			
q_{P2}	9																																																		
表5. 10 土被り部引抜の単位作業時間（ γ_4 ）（ min/m ）																																																			
γ_4	1. 0																																																		
表5. 11 グラウト材注入の単位使用量（ γ_5 ）（ ℓ/m ）																																																			
γ_5	12																																																		
表5. 7 単位時間当り注入量（ q_{P1} ）（ ℓ/min ）																																																			
q_{P1}	8																																																		
表5. 8 土被り部引抜の単位作業時間（ γ_3 ）（ min/m ）																																																			
γ_3	1. 0																																																		
表5. 9 単位時間当り注入量（ q_{P2} ）（ ℓ/min ）																																																			
q_{P2}	9																																																		
表5. 10 土被り部引抜の単位作業時間（ γ_4 ）（ min/m ）																																																			
γ_4	1. 0																																																		
表5. 11 グラウト材注入の単位使用量（ γ_5 ）（ ℓ/m ）																																																			
γ_5	12																																																		
II-2-⑫-6								記載の変更																																											
積算上の注意事項								(控え頁) 5／14																																											

工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由	一部改正	改 正																		
		現 行																		
現 行		改 正	備 考																	
Q_{P1}：二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入量（ℓ） V：二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入対象土量（㎡） λ：注入率 3） 二次注入材料 $Q_{P2}=V\times\lambda\times1,000\cdots\cdots$式 5.4 Q_{P2}：二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入量（ℓ） V：二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入対象土量（㎡） λ：注入率 （5） 1日当り施工本数 二重管ダブルバッカー工法における削孔、一次注入、二次注入の1日当り施工本数は、次式とする。 1） 削孔 $N=60\times H/T_D\times(2)$ N：1（2）セット1日当り削孔施工本数（本／日） H：削孔設備の1日当り実作業時間で、6.5時間とする。 T_D：1本当り削孔時間（min） 2） 一次注入 $N=60\times H/T_{P1}\times4$ N：4セット1日当り注入施工本数（本／日） H：注入設備の1日当り実作業時間で、7.3時間とする。 T_{P1}：1本当り注入時間（min） 3） 二次注入 $N=60\times H/T_{P2}\times4$ N：4セット1日当り注入施工本数（本／日） H：注入設備の1日当り実作業時間で、7.3時間とする。 T_{P2}：1本当り注入時間（min） （6） 諸雑費 二重管ダブルバッカー工法削孔時の諸雑費は、グラウトポンプ・グラウトミキサ・送水ポンプ・貯水槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、一次注入及び二次注入時の諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置、グラウトミキサ・バッカー加圧ポンプ・送水ポンプ・送液ポンプ、貯水槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額（水ガラス積算流量計は除く）に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 <table><caption>表5.12 二重管ダブルバッカー工法の諸雑費率（％）</caption><tr><th>条 件</th><th>セット数</th><th>諸雑費率</th></tr><tr><td rowspan="2">削 孔</td><td>1</td><td>8</td></tr><tr><td>2</td><td>6</td></tr><tr><td>一 次 注 入</td><td>4</td><td>25</td></tr><tr><td>二 次 注 入 有 機 系</td><td>4</td><td>25</td></tr><tr><td>二 次 注 入 無 機 系</td><td>4</td><td>21</td></tr></table> II-2-⑫-7		条 件	セット数	諸雑費率	削 孔	1	8	2	6	一 次 注 入	4	25	二 次 注 入 有 機 系	4	25	二 次 注 入 無 機 系	4	21	Q_{P1}：二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入量（ℓ） V：二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入対象土量（m3） λ：注入率 3） 二次注入材料 $Q_{P2}=V\times\lambda\times1,000\cdots\cdots$式 5.4 Q_{P2}：二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入量（ℓ） V：二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入対象土量（㎡） λ：注入率 現行どおり	記載の変更 記載の変更
条 件	セット数	諸雑費率																		
削 孔	1	8																		
	2	6																		
一 次 注 入	4	25																		
二 次 注 入 有 機 系	4	25																		
二 次 注 入 無 機 系	4	21																		
積算上の注意事項			（控え頁） 6／14																	

工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																															
現 行				改 正		備 考																																																																																													
5ー3 消耗材料費 5ー3ー1 消耗材料量 (1) 二重管ストレーナ工法 1) 削孔材料消耗量 表5.13 削孔材料消耗量 (削孔径 φ40.5 mm 削孔長 1.0m当り) <table><tr><th rowspan="2">品 名</th><th rowspan="2">単 位</th><th>レ キ 質 土</th><th>砂 質 土</th><th>粘 性 土</th></tr><tr><th>複 相</th><th>複 相</th><th>複 相</th></tr><tr><td>二重管ボーリングロッド</td><td>m</td><td>0.05</td><td>0.03</td><td>0.02</td></tr><tr><td>メタルクラウン φ41 mm</td><td>個</td><td>0.30</td><td>0.04</td><td>0.03</td></tr><tr><td>複相用グラウトモニタ φ40.5 mm</td><td>〃</td><td>0.005</td><td>0.003</td><td>0.002</td></tr><tr><td>そ の 他 雑 品</td><td>%</td><td>11</td><td>17</td><td>16</td></tr></table> (注) 1. 本歩掛は鉛直方向への削孔のみに適用する。 2. 二重管ボーリングロッドは3.0m／本とする。 3. その他雑品には、ロッドカップリング、圧力計、パイプレンチ、ペンチ、ドライバー、カッター、スラントルール、水切りモップ等を含み、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。 2) 注入材料消耗量 表5.14 注入材料消耗量 (注入量 1,000ℓ 当り) <table><tr><th>品 名</th><th>単位</th><th>複 相</th><th>備 考</th></tr><tr><td>グラウトモニタ φ40.5 mm</td><td>個</td><td>0.02</td><td>複相用</td></tr><tr><td>注入ホース類 φ12 mm</td><td>組</td><td>0.005</td><td>P＝4.9MPa (50kgf／cm²) L＝50m×3</td></tr><tr><td>サクシヨンホース φ38 mm</td><td>〃</td><td>0.003</td><td>L＝3m×3</td></tr><tr><td>その他雑品</td><td>%</td><td>25</td><td></td></tr></table> (注) その他雑品には、二重管スイベル、スイベルカバー、継手類、ホース、ポンプ、流量計、分流バルブ、圧力計、パイプレンチ、ペンチ、ウェス、スコップ、土のう等を含み、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。 (2) 二重管ダブルパッカー工法 1) 削孔材料消耗量 表5.15 削孔材料消耗量 (ケーシング削孔径 96 mm 削孔長 1.0m当り) <table><tr><th>品 名</th><th>単位</th><th>レキ質土</th><th>砂質土</th><th>粘性土</th></tr><tr><td>ケーシング φ96 mm (カップリング付)</td><td>個</td><td>0.0167</td><td>0.0055</td><td>0.0040</td></tr><tr><td>ウォータスイベル φ96 mm</td><td>〃</td><td>0.0028</td><td>0.0009</td><td>0.0007</td></tr><tr><td>シャ ン ク ロ ッ ド</td><td>〃</td><td>0.0083</td><td>0.0030</td><td>0.0025</td></tr><tr><td>そ の 他 雑 品</td><td>%</td><td>41</td><td>49</td><td>55</td></tr></table> (注) 1. 本歩掛は鉛直方向への削孔にのみ適用する。 2. その他雑品には、シャンクアダプタ、リングビット等が含まれており、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。				品 名	単 位	レ キ 質 土	砂 質 土	粘 性 土	複 相	複 相	複 相	二重管ボーリングロッド	m	0.05	0.03	0.02	メタルクラウン φ41 mm	個	0.30	0.04	0.03	複相用グラウトモニタ φ40.5 mm	〃	0.005	0.003	0.002	そ の 他 雑 品	%	11	17	16	品 名	単位	複 相	備 考	グラウトモニタ φ40.5 mm	個	0.02	複相用	注入ホース類 φ12 mm	組	0.005	P＝4.9MPa (50kgf／cm ²) L＝50m×3	サクシヨンホース φ38 mm	〃	0.003	L＝3m×3	その他雑品	%	25		品 名	単位	レキ質土	砂質土	粘性土	ケーシング φ96 mm (カップリング付)	個	0.0167	0.0055	0.0040	ウォータスイベル φ96 mm	〃	0.0028	0.0009	0.0007	シャ ン ク ロ ッ ド	〃	0.0083	0.0030	0.0025	そ の 他 雑 品	%	41	49	55	現行どおり 2) 注入材料消耗量 表5.14 注入材料消耗量 (注入量 1,000ℓ 当り) <table><tr><th>品 名</th><th>単位</th><th>複 相</th><th>備 考</th></tr><tr><td>グラウトモニタ φ40.5 mm</td><td>個</td><td>0.02</td><td>複相用</td></tr><tr><td>注入ホース類 φ12 mm</td><td>組</td><td>0.005</td><td>P＝4.9MPa (50kgf／cm²) L＝50m×3</td></tr><tr><td>サクシヨンホース φ38 mm</td><td>〃</td><td>0.003</td><td>L＝3m×3</td></tr><tr><td>その他雑品</td><td>%</td><td>25</td><td></td></tr></table> (注) その他雑品には、二重管スイベル、スイベルカバー、継手類、ホース、ポンプ、流量計、分流バルブ、圧力計、パイプレンチ、ペンチ、ウェス、スコップ、土のう等を含み、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。 現行どおり		品 名	単位	複 相	備 考	グラウトモニタ φ40.5 mm	個	0.02	複相用	注入ホース類 φ12 mm	組	0.005	P＝4.9MPa (50kgf／cm ²) L＝50m×3	サクシヨンホース φ38 mm	〃	0.003	L＝3m×3	その他雑品	%	25		記載の変更
品 名	単 位	レ キ 質 土	砂 質 土			粘 性 土																																																																																													
		複 相	複 相	複 相																																																																																															
二重管ボーリングロッド	m	0.05	0.03	0.02																																																																																															
メタルクラウン φ41 mm	個	0.30	0.04	0.03																																																																																															
複相用グラウトモニタ φ40.5 mm	〃	0.005	0.003	0.002																																																																																															
そ の 他 雑 品	%	11	17	16																																																																																															
品 名	単位	複 相	備 考																																																																																																
グラウトモニタ φ40.5 mm	個	0.02	複相用																																																																																																
注入ホース類 φ12 mm	組	0.005	P＝4.9MPa (50kgf／cm ²) L＝50m×3																																																																																																
サクシヨンホース φ38 mm	〃	0.003	L＝3m×3																																																																																																
その他雑品	%	25																																																																																																	
品 名	単位	レキ質土	砂質土	粘性土																																																																																															
ケーシング φ96 mm (カップリング付)	個	0.0167	0.0055	0.0040																																																																																															
ウォータスイベル φ96 mm	〃	0.0028	0.0009	0.0007																																																																																															
シャ ン ク ロ ッ ド	〃	0.0083	0.0030	0.0025																																																																																															
そ の 他 雑 品	%	41	49	55																																																																																															
品 名	単位	複 相	備 考																																																																																																
グラウトモニタ φ40.5 mm	個	0.02	複相用																																																																																																
注入ホース類 φ12 mm	組	0.005	P＝4.9MPa (50kgf／cm ²) L＝50m×3																																																																																																
サクシヨンホース φ38 mm	〃	0.003	L＝3m×3																																																																																																
その他雑品	%	25																																																																																																	
II-2-⑫-8																																																																																																			
積算上の注意事項						(控え頁) 7／14																																																																																													

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																																																																	
現 行				改 正				備 考																																																																																																	
2) 注入材料消耗量				2) 注入材料消耗量				記載の変更																																																																																																	
表5. 16 注入材料消耗量 (注入量 1,000ℓ あたり)				表5. 16 注入材料消耗量 (注入量 1,000L あたり)																																																																																																					
<table><tr><th>品 名</th><th>単位</th><th>ダブルバッカー</th><th>備 考</th></tr><tr><td>二重管ホース φ12 mm</td><td>本</td><td>0.01</td><td>P=21MPa (210kgf／cm²) L=20m</td></tr><tr><td>シールバッカーセット</td><td>個</td><td>0.02</td><td></td></tr><tr><td>シ ー ル セ ッ ト</td><td>#</td><td>0.20</td><td></td></tr><tr><td>注 入 用 部 品 類</td><td>%</td><td>56</td><td></td></tr></table>				品 名	単位	ダブルバッカー	備 考			二重管ホース φ12 mm	本	0.01	P=21MPa (210kgf／cm ²) L=20m	シールバッカーセット	個	0.02		シ ー ル セ ッ ト	#	0.20		注 入 用 部 品 類	%	56		<table><tr><th>品 名</th><th>単位</th><th>ダブルバッカー</th><th>備 考</th></tr><tr><td>二重管ホース φ12 mm</td><td>本</td><td>0.01</td><td>P=21MPa (210kgf／cm2) L=20m</td></tr><tr><td>シールバッカーセット</td><td>個</td><td>0.02</td><td></td></tr><tr><td>シ ー ル セ ッ ト</td><td>#</td><td>0.20</td><td></td></tr><tr><td>注 入 用 部 品 類</td><td>%</td><td>56</td><td></td></tr></table>				品 名	単位	ダブルバッカー	備 考	二重管ホース φ12 mm	本	0.01	P=21MPa (210kgf／cm2) L=20m	シールバッカーセット	個	0.02		シ ー ル セ ッ ト	#	0.20		注 入 用 部 品 類	%	56																																																									
品 名	単位	ダブルバッカー	備 考																																																																																																						
二重管ホース φ12 mm	本	0.01	P=21MPa (210kgf／cm ²) L=20m																																																																																																						
シールバッカーセット	個	0.02																																																																																																							
シ ー ル セ ッ ト	#	0.20																																																																																																							
注 入 用 部 品 類	%	56																																																																																																							
品 名	単位	ダブルバッカー	備 考																																																																																																						
二重管ホース φ12 mm	本	0.01	P=21MPa (210kgf／cm2) L=20m																																																																																																						
シールバッカーセット	個	0.02																																																																																																							
シ ー ル セ ッ ト	#	0.20																																																																																																							
注 入 用 部 品 類	%	56																																																																																																							
(注) 注入用部品類は、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。				(注) 注入用部品類は、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。																																																																																																					
5－3－2 消耗材料費				現行どおり																																																																																																					
(1) 二重管ストレーナ工法																																																																																																									
1) 削孔用消耗材料費 (削孔径 φ40.5 mm)																																																																																																									
二重管ストレーナ工法の削孔用消耗材料費 (削孔径 φ40.5 mm) は、二重管ボーリングロッド、メタルクラウン (φ41 mm)、グラウトモニタ (φ40.5 mm) 等の費用を計上する。																																																																																																									
2) 注入用消耗材料費																																																																																																									
二重管ストレーナ工法の注入用消耗材料費は、グラウトモニタ (φ40.5 mm)、注入ホース類 (φ12 mm)、サクションホース (φ38 mm) 等の費用を計上する。																																																																																																									
(2) 二重管ダブルバッカー工法																																																																																																									
1) 削孔用消耗材料費 (削孔径 φ96 mm)																																																																																																									
二重管ダブルバッカー工法の削孔用消耗材料費 (φ90 mm用) は、ドリルパイプ φ90 mm用 (1.5m)、ウォータスイベル (φ90 mm用二重管用)、ジャンクロッド等の費用を計上する。																																																																																																									
2) 注入用消耗材料費																																																																																																									
二重管ダブルバッカー工法の注入用消耗材料費は、二重管ホース (φ12 mm)、シールバッカーセット、シールセット等の費用を計上する。																																																																																																									
5－4 注入設備の据付・解体及び移設				5－4 注入設備の据付・解体及び移設																																																																																																					
(1) 注入設備据付解体歩掛				(1) 注入設備据付解体歩掛																																																																																																					
注入設備の据付・解体 (搬入・搬出時) の歩掛は、次表を標準とする。				注入設備の据付・解体 (搬入・搬出時) の歩掛は、次表を標準とする。																																																																																																					
表5. 17 注入設備据付・解体歩掛 (1 現場当り)				表5. 17 注入設備据付・解体歩掛 (1 現場当り)				記載の修正・削除 (歩掛改訂に伴う)																																																																																																	
<table><tr><th rowspan="3">名 称</th><th rowspan="3">規格</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="2">二重管ストレーナ工法</th><th colspan="3">二重管ダブルバッカー工法</th></tr><tr><th rowspan="2">2 セット</th><th rowspan="2">4 セット</th><th colspan="2">削 孔</th><th>注 入</th></tr><tr><th>1 セット</th><th>2 セット</th><th>4 セット</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>2.2</td><td>2.7</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>3.1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>8.2</td><td>13.3</td><td>4.6</td><td>6.2</td><td>11.6</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>3.4</td><td>5.6</td><td>1.5</td><td>2.3</td><td>3.9</td></tr><tr><td>ト ラ ッ ク (クレーン装置付)</td><td>ベーストラック 4 ～ 4.5t 積・吊能力 2.9t</td><td>h</td><td>13</td><td>17</td><td>6</td><td>6</td><td>19</td></tr></table>				名 称	規格	単位	二重管ストレーナ工法			二重管ダブルバッカー工法			2 セット	4 セット	削 孔		注 入	1 セット	2 セット	4 セット	土 木 一 般 世 話 役		人	2.2	2.7	1.5	1.5	3.1	特 殊 作 業 員		#	8.2	13.3	4.6	6.2	11.6	普 通 作 業 員		#	3.4	5.6	1.5	2.3	3.9	ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	ベーストラック 4 ～ 4.5t 積・吊能力 2.9t	h	13	17	6	6	19	<table><tr><th rowspan="3">名 称</th><th rowspan="3">規格</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="2">二重管ストレーナ工法</th><th colspan="3">二重管ダブルバッカー工法</th></tr><tr><th rowspan="2">2 セット</th><th rowspan="2">4 セット</th><th colspan="2">削 孔</th><th>注 入</th></tr><tr><th>1 セット</th><th>2 セット</th><th>4 セット</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>2.2</td><td>2.7</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>3.1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>8.2</td><td>13.3</td><td>4.6</td><td>6.2</td><td>11.6</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>3.4</td><td>5.6</td><td>1.5</td><td>2.3</td><td>3.9</td></tr><tr><td>ト ラ ッ ク (クレーン装置付)</td><td>ベーストラック通称 4～4.5t 積級・吊能力 2.9t</td><td>h</td><td>13</td><td>17</td><td>6</td><td>6</td><td>19</td></tr></table>				名 称	規格	単位	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバッカー工法			2 セット	4 セット	削 孔		注 入	1 セット	2 セット	4 セット	土 木 一 般 世 話 役		人	2.2	2.7	1.5	1.5	3.1	特 殊 作 業 員		#	8.2	13.3	4.6	6.2	11.6	普 通 作 業 員		#	3.4	5.6	1.5	2.3	3.9	ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	ベーストラック 通称 4～4.5t 積級・吊能力 2.9t	h	13	17	6	6	19	
名 称	規格	単位	二重管ストレーナ工法				二重管ダブルバッカー工法																																																																																																		
			2 セット				4 セット			削 孔		注 入																																																																																													
				1 セット	2 セット	4 セット																																																																																																			
土 木 一 般 世 話 役		人	2.2	2.7	1.5	1.5	3.1																																																																																																		
特 殊 作 業 員		#	8.2	13.3	4.6	6.2	11.6																																																																																																		
普 通 作 業 員		#	3.4	5.6	1.5	2.3	3.9																																																																																																		
ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	ベーストラック 4 ～ 4.5t 積・吊能力 2.9t	h	13	17	6	6	19																																																																																																		
名 称	規格	単位	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバッカー工法																																																																																																				
			2 セット	4 セット	削 孔		注 入																																																																																																		
					1 セット	2 セット	4 セット																																																																																																		
土 木 一 般 世 話 役		人	2.2	2.7	1.5	1.5	3.1																																																																																																		
特 殊 作 業 員		#	8.2	13.3	4.6	6.2	11.6																																																																																																		
普 通 作 業 員		#	3.4	5.6	1.5	2.3	3.9																																																																																																		
ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	ベーストラック 通称 4～4.5t 積級・吊能力 2.9t	h	13	17	6	6	19																																																																																																		
II-2-⑫-9																																																																																																									
積算上の注意事項								(控え頁)																																																																																																	
								8／14																																																																																																	

改 正 理 由		一部改正				改 正																																																																																																							
		現 行				改 正																																																																																																							
						現 行																																																																																																							
現 行						改 正						備 考																																																																																																	
(2) 注入設備移設歩掛 注入範囲が注入設備を中心に半径 50m を超える場合、又は同一現場内に施工箇所が 2 箇所以上あり、注入設備を移設しなければならない場合は次表を標準とする。 表5.18 注入設備移設歩掛 (1 回当たり) <table><tr><th rowspan="3">名 称</th><th rowspan="3">規格</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="2">二重管ストレーナ工法</th><th colspan="3">二重管ダブルバッカー工法</th></tr><tr><th rowspan="2">2 セット</th><th rowspan="2">4 セット</th><th colspan="2">削 孔</th><th>注 入</th></tr><tr><th>1 セット</th><th>2 セット</th><th>4 セット</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1.3</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>5.5</td><td>8.5</td><td>3.0</td><td>4.0</td><td>7.5</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>2.2</td><td>3.5</td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>2.5</td></tr><tr><td>ト ラ ッ ク (クレーン装置付)</td><td>ベーストラック 4 ～ 4.5 t 積・吊能力 2.9t</td><td>h</td><td>8</td><td>11</td><td>4</td><td>4</td><td>12</td></tr></table>						名 称	規格	単位	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバッカー工法			2 セット	4 セット	削 孔		注 入	1 セット	2 セット	4 セット	土 木 一 般 世 話 役		人	1.3	2.0	1.0	1.0	2.0	特 殊 作 業 員		〃	5.5	8.5	3.0	4.0	7.5	普 通 作 業 員		〃	2.2	3.5	1.0	1.5	2.5	ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	ベーストラック 4 ～ 4.5 t 積・吊能力 2.9t	h	8	11	4	4	12	(2) 注入設備移設歩掛 注入範囲が注入設備を中心に半径 50m を超える場合、又は同一現場内に施工箇所が 2 箇所以上あり、注入設備を移設しなければならない場合は次表を標準とする。 表5.18 注入設備移設歩掛 (1 回当たり) <table><tr><th rowspan="3">名 称</th><th rowspan="3">規格</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="2">二重管ストレーナ工法</th><th colspan="3">二重管ダブルバッカー工法</th></tr><tr><th rowspan="2">2 セット</th><th rowspan="2">4 セット</th><th colspan="2">削 孔</th><th>注 入</th></tr><tr><th>1 セット</th><th>2 セット</th><th>4 セット</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1.3</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>2.0</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>5.5</td><td>8.5</td><td>3.0</td><td>4.0</td><td>7.5</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>2.2</td><td>3.5</td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>2.5</td></tr><tr><td>ト ラ ッ ク (クレーン装置付)</td><td>ベーストラック通 称 4～4.5t 積載・吊能力 2.9t</td><td>h</td><td>8</td><td>11</td><td>4</td><td>4</td><td>12</td></tr></table>						名 称	規格	単位	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバッカー工法			2 セット	4 セット	削 孔		注 入	1 セット	2 セット	4 セット	土 木 一 般 世 話 役		人	1.3	2.0	1.0	1.0	2.0	特 殊 作 業 員		〃	5.5	8.5	3.0	4.0	7.5	普 通 作 業 員		〃	2.2	3.5	1.0	1.5	2.5	ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	ベーストラック通 称 4～4.5t 積載・吊能力 2.9t	h	8	11	4	4	12	記載の修正・削除 (歩掛改訂に伴う)	
名 称	規格	単位	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバッカー工法																																																																																																								
			2 セット	4 セット	削 孔				注 入																																																																																																				
					1 セット	2 セット	4 セット																																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	1.3	2.0	1.0	1.0	2.0																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	5.5	8.5	3.0	4.0	7.5																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	2.2	3.5	1.0	1.5	2.5																																																																																																						
ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	ベーストラック 4 ～ 4.5 t 積・吊能力 2.9t	h	8	11	4	4	12																																																																																																						
名 称	規格	単位	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバッカー工法																																																																																																								
			2 セット	4 セット	削 孔		注 入																																																																																																						
					1 セット	2 セット	4 セット																																																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人	1.3	2.0	1.0	1.0	2.0																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	5.5	8.5	3.0	4.0	7.5																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	2.2	3.5	1.0	1.5	2.5																																																																																																						
ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	ベーストラック通 称 4～4.5t 積載・吊能力 2.9t	h	8	11	4	4	12																																																																																																						
5ー5 排水汚泥土処理費 注入排水、排土などのための処理設備が必要な場合は、次表を標準とする。 表5.19 排水汚泥土処理費 (1 日当たり) <table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>規 格</th><th>数 量</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td></td><td>0.8</td></tr><tr><td>工 事 用 水 中 モ ー タ ポ ン プ</td><td>日</td><td>普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m</td><td>1.0</td></tr><tr><td>ア ル カ リ 水 中 和 装 置</td><td>h</td><td>炭酸ガス式 処理量 6m3/h</td><td>6.8</td></tr><tr><td>水 槽</td><td>供用日</td><td>5 m³</td><td>1.5</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td></td><td>20</td></tr></table>						名 称	単位	規 格	数 量	普 通 作 業 員	人		0.8	工 事 用 水 中 モ ー タ ポ ン プ	日	普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m	1.0	ア ル カ リ 水 中 和 装 置	h	炭酸ガス式 処理量 6m3/h	6.8	水 槽	供用日	5 m ³	1.5	諸 雑 費 率	%		20	5ー5 排水汚泥土処理費 注入排水、排土などのための処理設備が必要な場合は、次表を標準とする。 表5.19 排水汚泥土処理費 (1 日当たり) <table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>規 格</th><th>数 量</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td></td><td>0.8</td></tr><tr><td>工 事 用 水 中 モ ー タ ポ ン プ</td><td>日</td><td>普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m</td><td>1.0</td></tr><tr><td>ア ル カ リ 水 中 和 装 置</td><td>h</td><td>炭酸ガス式 処理量 6m3/h</td><td>6.8</td></tr><tr><td>水 槽 (一 般 工 事 用)</td><td>供用日</td><td>鋼板製簡易水槽 5m3</td><td>1.5</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td></td><td>20</td></tr></table>						名 称	単位	規 格	数 量	普 通 作 業 員	人		0.8	工 事 用 水 中 モ ー タ ポ ン プ	日	普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m	1.0	ア ル カ リ 水 中 和 装 置	h	炭酸ガス式 処理量 6m3/h	6.8	水 槽 (一 般 工 事 用)	供用日	鋼板製簡易水槽 5m3	1.5	諸 雑 費 率	%		20	記載の修正・削除 (歩掛改訂に伴う)																																																	
名 称	単位	規 格	数 量																																																																																																										
普 通 作 業 員	人		0.8																																																																																																										
工 事 用 水 中 モ ー タ ポ ン プ	日	普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m	1.0																																																																																																										
ア ル カ リ 水 中 和 装 置	h	炭酸ガス式 処理量 6m3/h	6.8																																																																																																										
水 槽	供用日	5 m ³	1.5																																																																																																										
諸 雑 費 率	%		20																																																																																																										
名 称	単位	規 格	数 量																																																																																																										
普 通 作 業 員	人		0.8																																																																																																										
工 事 用 水 中 モ ー タ ポ ン プ	日	普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m	1.0																																																																																																										
ア ル カ リ 水 中 和 装 置	h	炭酸ガス式 処理量 6m3/h	6.8																																																																																																										
水 槽 (一 般 工 事 用)	供用日	鋼板製簡易水槽 5m3	1.5																																																																																																										
諸 雑 費 率	%		20																																																																																																										
5ー6 足場工 足場が必要な場合は、別途計上する。						現行どおり																																																																																																							
5ー7 その他 (1) 本工法は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は別途計上する。 (2) 用水費については、現場条件を確認の上、必要に応じて別途計上する。																																																																																																													
II-2-⑫-10																																																																																																													
積算上の注意事項						(控え頁)																																																																																																							
						9／14																																																																																																							

工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正			改 正		現 行			
現 行					改 正					備 考
6. 単 価 表					6. 単 価 表					記載の修正・削除 (歩掛改訂に伴う)
(1) 二重管ストレーナ工法1本当り単価表					(1) 二重管ストレーナ工法1本当り単価表					

工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																		
現 行				改 正		備 考																																																																																
(5) 注入設備据付・解体1現場当り単価表 <table><tr><th colspan="3"></th><th>施工歩掛コード</th><th>WB223750</th></tr><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 5.17</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>トラック (クレーン装置付) 運 転</td><td>ベーストラック 4 ～ 4 . 5 t 積 ・ 吊 能 力 2 . 9 t</td><td>h</td><td></td><td>表 5.17 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							施工歩掛コード	WB223750	名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 5.17	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	トラック (クレーン装置付) 運 転	ベーストラック 4 ～ 4 . 5 t 積 ・ 吊 能 力 2 . 9 t	h		表 5.17 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					(5) 注入設備据付・解体1現場当り単価表 <table><tr><th colspan="3"></th><th>施工歩掛コード</th><th>WB223750</th></tr><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 5.17</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>トラック (クレーン装置付) 運 転</td><td>ベーストラック通称 4～ 4.5t 積級・吊能力 2.9t</td><td>h</td><td></td><td>表 5.17 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					施工歩掛コード	WB223750	名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 5.17	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	トラック (クレーン装置付) 運 転	ベーストラック通称 4～ 4.5t 積級・吊能力 2.9t	h		表 5.17 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					記載の修正・削除 (歩掛改訂に伴う)
			施工歩掛コード	WB223750																																																																																		
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																		
土 木 一 般 世 話 役		人		表 5.17																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																		
トラック (クレーン装置付) 運 転	ベーストラック 4 ～ 4 . 5 t 積 ・ 吊 能 力 2 . 9 t	h		表 5.17 機械損料																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																			
計																																																																																						
			施工歩掛コード	WB223750																																																																																		
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																		
土 木 一 般 世 話 役		人		表 5.17																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																		
トラック (クレーン装置付) 運 転	ベーストラック通称 4～ 4.5t 積級・吊能力 2.9t	h		表 5.17 機械損料																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																			
計																																																																																						
(6) 注入設備移設1回当り単価表 <table><tr><th colspan="3"></th><th>施工歩掛コード</th><th>WB223760</th></tr><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 5.18</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>トラック (クレーン装置付) 運 転</td><td>ベーストラック 4 ～ 4 . 5 t 積 ・ 吊 能 力 2 . 9 t</td><td>h</td><td></td><td>表 5.18 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							施工歩掛コード	WB223760	名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 5.18	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	トラック (クレーン装置付) 運 転	ベーストラック 4 ～ 4 . 5 t 積 ・ 吊 能 力 2 . 9 t	h		表 5.18 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					(6) 注入設備移設1回当り単価表 <table><tr><th colspan="3"></th><th>施工歩掛コード</th><th>WB223760</th></tr><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表 5.18</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>トラック (クレーン装置付) 運 転</td><td>ベーストラック通称 4～ 4.5t 積級・吊能力 2.9t</td><td>h</td><td></td><td>表 5.18 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					施工歩掛コード	WB223760	名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 5.18	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	トラック (クレーン装置付) 運 転	ベーストラック通称 4～ 4.5t 積級・吊能力 2.9t	h		表 5.18 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					記載の修正・削除 (歩掛改訂に伴う)
			施工歩掛コード	WB223760																																																																																		
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																		
土 木 一 般 世 話 役		人		表 5.18																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																		
トラック (クレーン装置付) 運 転	ベーストラック 4 ～ 4 . 5 t 積 ・ 吊 能 力 2 . 9 t	h		表 5.18 機械損料																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																			
計																																																																																						
			施工歩掛コード	WB223760																																																																																		
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																		
土 木 一 般 世 話 役		人		表 5.18																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																		
トラック (クレーン装置付) 運 転	ベーストラック通称 4～ 4.5t 積級・吊能力 2.9t	h		表 5.18 機械損料																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																			
計																																																																																						
(7) 排水汚泥土処理1日当り単価表 <table><tr><th colspan="3"></th><th>施工歩掛コード</th><th>WB223770</th></tr><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>0.8</td><td>表 5.19</td></tr><tr><td>工事中水中モータポンプ</td><td>普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m</td><td>日</td><td>1.0</td><td>表 5.19 機械損料</td></tr><tr><td>アルカリ水中和装置</td><td>炭酸ガス式 処理量 6m3/h</td><td>h</td><td>6.8</td><td>〃</td></tr><tr><td>水槽 (一般工用)</td><td>銅板製簡易水槽 5 m³</td><td>供用日</td><td>1.5</td><td>〃</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表 5.19</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							施工歩掛コード	WB223770	名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人	0.8	表 5.19	工事中水中モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m	日	1.0	表 5.19 機械損料	アルカリ水中和装置	炭酸ガス式 処理量 6m3/h	h	6.8	〃	水槽 (一般工用)	銅板製簡易水槽 5 m ³	供用日	1.5	〃	諸 雑 費		式	1	表 5.19	計					(7) 排水汚泥土処理1日当り単価表 <table><tr><th colspan="3"></th><th>施工歩掛コード</th><th>WB223770</th></tr><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>0.8</td><td>表 5.19</td></tr><tr><td>工事中水中モータポンプ</td><td>普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m</td><td>日</td><td>1.0</td><td>表 5.19 機械損料</td></tr><tr><td>アルカリ水中和装置</td><td>炭酸ガス式 処理量 6m3/h</td><td>h</td><td>6.8</td><td>〃</td></tr><tr><td>水槽 (一般工用)</td><td>銅板製簡易水槽 5m³</td><td>供用日</td><td>1.5</td><td>〃</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表 5.19</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					施工歩掛コード	WB223770	名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人	0.8	表 5.19	工事中水中モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m	日	1.0	表 5.19 機械損料	アルカリ水中和装置	炭酸ガス式 処理量 6m3/h	h	6.8	〃	水槽 (一般工用)	銅板製簡易水槽 5m ³	供用日	1.5	〃	諸 雑 費		式	1	表 5.19	計					記載の変更
			施工歩掛コード	WB223770																																																																																		
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																		
普 通 作 業 員		人	0.8	表 5.19																																																																																		
工事中水中モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m	日	1.0	表 5.19 機械損料																																																																																		
アルカリ水中和装置	炭酸ガス式 処理量 6m3/h	h	6.8	〃																																																																																		
水槽 (一般工用)	銅板製簡易水槽 5 m ³	供用日	1.5	〃																																																																																		
諸 雑 費		式	1	表 5.19																																																																																		
計																																																																																						
			施工歩掛コード	WB223770																																																																																		
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																		
普 通 作 業 員		人	0.8	表 5.19																																																																																		
工事中水中モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径 50 mm 全揚程 20m	日	1.0	表 5.19 機械損料																																																																																		
アルカリ水中和装置	炭酸ガス式 処理量 6m3/h	h	6.8	〃																																																																																		
水槽 (一般工用)	銅板製簡易水槽 5m ³	供用日	1.5	〃																																																																																		
諸 雑 費		式	1	表 5.19																																																																																		
計																																																																																						
(8) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td>ボ ー リ ン グ マ シ ン</td><td>ロータリーバーカッション式 クローラ型 81kw 級</td><td>機-12</td><td>燃料消費量 → 78ℓ/日</td></tr><tr><td>トラック (クレーン装置付) 運 転</td><td>ベーストラック 4～4.5 t 積・ 吊 能 力 2 . 9 t</td><td>機-1</td><td></td></tr></table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	ボ ー リ ン グ マ シ ン	ロータリーバーカッション式 クローラ型 81kw 級	機-12	燃料消費量 → 78ℓ/日	トラック (クレーン装置付) 運 転	ベーストラック 4～4.5 t 積・ 吊 能 力 2 . 9 t	機-1		(8) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td>ボ ー リ ン グ マ シ ン</td><td>ロータリーバーカッション式 クローラ型 通称 81kw 級</td><td>機-12</td><td>燃料消費量 → 78ℓ/日</td></tr><tr><td>トラック (クレーン装置付) 運 転</td><td>ベーストラック 4～4.5t 積級・ 吊能力 2.9t</td><td>機-1</td><td></td></tr></table>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	ボ ー リ ン グ マ シ ン	ロータリーバーカッション式 クローラ型 通称 81kw 級	機-12	燃料消費量 → 78ℓ/日	トラック (クレーン装置付) 運 転	ベーストラック 4～4.5t 積級・ 吊能力 2.9t	機-1		記載の修正・削除 (歩掛改訂に伴う)																																																								
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																			
ボ ー リ ン グ マ シ ン	ロータリーバーカッション式 クローラ型 81kw 級	機-12	燃料消費量 → 78ℓ/日																																																																																			
トラック (クレーン装置付) 運 転	ベーストラック 4～4.5 t 積・ 吊 能 力 2 . 9 t	機-1																																																																																				
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																			
ボ ー リ ン グ マ シ ン	ロータリーバーカッション式 クローラ型 通称 81kw 級	機-12	燃料消費量 → 78ℓ/日																																																																																			
トラック (クレーン装置付) 運 転	ベーストラック 4～4.5t 積級・ 吊能力 2.9t	機-1																																																																																				
II-2-⑫-13																																																																																						
積算上の注意事項		(控え頁) 12／14																																																																																				

工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																			
現 行				改 正				備 考																																																																																																	
7. 施工単価入力基準表 (1) 二重管ストレーナ工法 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223710</td><td>施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="8">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td><td>J 6</td><td>J 7</td><td>J 8</td></tr><tr><td>セット数</td><td>レキ質土の削孔長</td><td>砂質土の削孔長</td><td>粘性土の削孔長</td><td>土被り長 (ℓ₂)</td><td>1本当り注入量 (Q_n)</td><td>水ガラス積算流量計の有無</td><td>特許料の有無</td></tr><tr><td>③2セット ②4セット</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (ℓ)</td><td>①無 ②有</td><td>①無 ②有</td></tr><tr><td colspan="8"></td></tr></table> (注) 1. 注入材単価 (Y-1633000) [円/ℓ] を単価登録すること。 2. J 8条件で②を選択した場合は、特許料金 (Y-7550002) [円/ℓ] を単価登録すること。				施工歩掛コード	WB223710		施工単位	本		施工区分	入 力 条 件								各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	J 8	セット数	レキ質土の削孔長	砂質土の削孔長	粘性土の削孔長	土被り長 (ℓ ₂)	1本当り注入量 (Q _n)	水ガラス積算流量計の有無	特許料の有無	③2セット ②4セット	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有	①無 ②有									7. 施工単価入力基準表 (1) 二重管ストレーナ工法 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223710</td><td>施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="8">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td><td>J 6</td><td>J 7</td><td>J 8</td></tr><tr><td>セット数</td><td>レキ質土の削孔長</td><td>砂質土の削孔長</td><td>粘性土の削孔長</td><td>土被り長 (ℓ₂)</td><td>1本当り注入量 (Q_n)</td><td>水ガラス積算流量計の有無</td><td>特許料の有無</td></tr><tr><td>①2セット ②4セット</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (ℓ)</td><td>①無 ②有</td><td>①無 ②有</td></tr><tr><td colspan="8"></td></tr></table> (注) 1. 注入材単価 (Y-1633000) [円/L] を単価登録すること。 2. J 8条件で②を選択した場合は、特許料金 (Y-7550002) [円/L] を単価登録すること。				施工歩掛コード	WB223710		施工単位	本		施工区分	入 力 条 件								各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	J 8	セット数	レキ質土の削孔長	砂質土の削孔長	粘性土の削孔長	土被り長 (ℓ ₂)	1本当り注入量 (Q _n)	水ガラス積算流量計の有無	特許料の有無	①2セット ②4セット	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有	①無 ②有									記載の変更	
施工歩掛コード	WB223710		施工単位	本																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																								
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	J 8																																																																																																	
	セット数	レキ質土の削孔長	砂質土の削孔長	粘性土の削孔長	土被り長 (ℓ ₂)	1本当り注入量 (Q _n)	水ガラス積算流量計の有無	特許料の有無																																																																																																	
	③2セット ②4セット	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有	①無 ②有																																																																																																	
施工歩掛コード	WB223710		施工単位	本																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																								
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	J 8																																																																																																	
	セット数	レキ質土の削孔長	砂質土の削孔長	粘性土の削孔長	土被り長 (ℓ ₂)	1本当り注入量 (Q _n)	水ガラス積算流量計の有無	特許料の有無																																																																																																	
	①2セット ②4セット	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有	①無 ②有																																																																																																	
(2) 二重管ダブルバッカー工法 (削孔工) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223720</td><td>施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="5">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td></tr><tr><td>セット数</td><td>レキ質土の削孔長</td><td>砂質土の削孔長</td><td>粘性土の削孔長</td><td>土被り長 (ℓ₂)</td></tr><tr><td>① 1セット ② 2セット</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (m)</td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr></table> (注) グラウト材単価 (Y-1635000) [円/ℓ]、薬液注入管 (注入部) 単価 (Y-1642000) [円/m]、薬液注入管 (土被り部) 単価 (Y-1643000) [円/m] を単価登録すること。				施工歩掛コード	WB223720		施工単位	本		施工区分	入 力 条 件					各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	セット数	レキ質土の削孔長	砂質土の削孔長	粘性土の削孔長	土被り長 (ℓ ₂)	① 1セット ② 2セット	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)						(2) 二重管ダブルバッカー工法 (削孔工) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223720</td><td>施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="5">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td></tr><tr><td>セット数</td><td>レキ質土の削孔長</td><td>砂質土の削孔長</td><td>粘性土の削孔長</td><td>土被り長 (ℓ₂)</td></tr><tr><td>① 1セット ② 2セット</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (m)</td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr></table> (注) グラウト材単価 (Y-1635000) [円/ℓ]、薬液注入管 (注入部) 単価 (Y-1642000) [円/m]、薬液注入管 (土被り部) 単価 (Y-1643000) [円/m] を単価登録すること。 1. グラウト材単価 (Y-1635000) [円/L] を単価登録すること。 2. 薬液注入管 (注入部) 単価 (Y-1642000) [円/m] を単価登録すること。 注入部：注入管、先端キャップ、アダプター等。 3. 薬液注入管 (土被り部) 単価 (Y-1643000) [円/m] を単価登録すること。 土被り部：注入管、アダプター等。				施工歩掛コード	WB223720		施工単位	本		施工区分	入 力 条 件					各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	セット数	レキ質土の削孔長	砂質土の削孔長	粘性土の削孔長	土被り長 (ℓ ₂)	① 1セット ② 2セット	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)						記載の変更																															
施工歩掛コード	WB223720		施工単位	本																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																								
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																				
	セット数	レキ質土の削孔長	砂質土の削孔長	粘性土の削孔長	土被り長 (ℓ ₂)																																																																																																				
	① 1セット ② 2セット	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)																																																																																																				
施工歩掛コード	WB223720		施工単位	本																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																								
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																				
	セット数	レキ質土の削孔長	砂質土の削孔長	粘性土の削孔長	土被り長 (ℓ ₂)																																																																																																				
	① 1セット ② 2セット	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)																																																																																																				
(3) 二重管ダブルバッカー工法 (一次注入工) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223730</td><td>施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="4">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td colspan="2">J 3</td></tr><tr><td>土 被 り 長 (ℓ₂)</td><td>1本当り注入量 (Q_n)</td><td colspan="2">特許料の有無</td></tr><tr><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (ℓ)</td><td colspan="2">①無 ②有</td></tr><tr><td colspan="4"></td></tr></table> (注) 1. 注入材単価 (Y-1633000) [円/ℓ] を単価登録すること。 2. J 3条件で②を選択した場合は、特許料金 (Y-7550002) [円/ℓ] を単価登録すること。				施工歩掛コード	WB223730		施工単位	本		施工区分	入 力 条 件				各 種	J 1	J 2	J 3		土 被 り 長 (ℓ ₂)	1本当り注入量 (Q _n)	特許料の有無		(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有						(3) 二重管ダブルバッカー工法 (一次注入工) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223730</td><td>施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="4">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td colspan="2">J 3</td></tr><tr><td>土 被 り 長 (ℓ₂)</td><td>1本当り注入量 (Q_n)</td><td colspan="2">特許料の有無</td></tr><tr><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (ℓ)</td><td colspan="2">①無 ②有</td></tr><tr><td colspan="4"></td></tr></table> (注) 1. 注入材単価 (Y-1633000) [円/L] を単価登録すること。 2. J 3条件で②を選択した場合は、特許料金 (Y-7550002) [円/L] を単価登録すること。				施工歩掛コード	WB223730		施工単位	本		施工区分	入 力 条 件				各 種	J 1	J 2	J 3		土 被 り 長 (ℓ ₂)	1本当り注入量 (Q _n)	特許料の有無		(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有						記載の変更																																									
施工歩掛コード	WB223730		施工単位	本																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																								
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																																																						
	土 被 り 長 (ℓ ₂)	1本当り注入量 (Q _n)	特許料の有無																																																																																																						
	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有																																																																																																						
施工歩掛コード	WB223730		施工単位	本																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																								
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																																																						
	土 被 り 長 (ℓ ₂)	1本当り注入量 (Q _n)	特許料の有無																																																																																																						
	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有																																																																																																						
(4) 二重管ダブルバッカー工法 (二次注入工) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223740</td><td>施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="5">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td></tr><tr><td>注入材種別</td><td>土 被 り 長 (ℓ₂)</td><td>1本当り注入量 (Q_n)</td><td>水ガラス積算流量計の有無</td><td>特許料の有無</td></tr><tr><td>①溶液型有機系 ②溶液型無機系</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (ℓ)</td><td>①無 ②有</td><td>①無 ②有</td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr></table> (注) 1. 注入材単価 (Y-1633000) [円/ℓ] を単価登録すること。 2. J 5条件で②を選択した場合は、特許料金 (Y-7550002) [円/ℓ] を単価登録すること。				施工歩掛コード	WB223740		施工単位	本		施工区分	入 力 条 件					各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	注入材種別	土 被 り 長 (ℓ ₂)	1本当り注入量 (Q _n)	水ガラス積算流量計の有無	特許料の有無	①溶液型有機系 ②溶液型無機系	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有	①無 ②有						次頁へ移動																																																																				
施工歩掛コード	WB223740		施工単位	本																																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																																								
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																				
	注入材種別	土 被 り 長 (ℓ ₂)	1本当り注入量 (Q _n)	水ガラス積算流量計の有無	特許料の有無																																																																																																				
	①溶液型有機系 ②溶液型無機系	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有	①無 ②有																																																																																																				
積算上の注意事項		II-2-⑫-14						(控え頁) 13/14																																																																																																	

工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由	一部改正				改 正																																														
					現 行																																														
現 行		改 正				備 考																																													
前頁から移動 →		(4) 二重管ダブルバッカー工法（二次注入工） <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223740</td><td colspan="2">施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td colspan="2">施工区分</td><td colspan="5">入 力 条 件</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>注入材種別</td><td>土 被 り 長 (L₂)</td><td>1 本当り 注入量 (Q₂₀)</td><td>水ガラス 積算流量 計の有無</td><td>特許料の 有無</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>①溶液型有機系 ②溶液型無機系</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実 数 入 力) (L)</td><td>①無 ②有</td><td>①無 ②有</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="7"></td></tr></table> (注) 1. 注入材単価 (Y-1633000) [円／L] を単価登録すること。 2. J 5 条件で②を選択した場合は、特許料金 (Y-7550002) [円／L] を単価登録すること。				施工歩掛コード		WB223740		施工単位		本		施工区分		入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5			注入材種別	土 被 り 長 (L ₂)	1 本当り 注入量 (Q ₂₀)	水ガラス 積算流量 計の有無	特許料の 有無			①溶液型有機系 ②溶液型無機系	(実数入力) (m)	(実 数 入 力) (L)	①無 ②有	①無 ②有										記載の変更
		施工歩掛コード		WB223740		施工単位		本																																											
		施工区分		入 力 条 件																																															
		各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																												
			注入材種別	土 被 り 長 (L ₂)	1 本当り 注入量 (Q ₂₀)	水ガラス 積算流量 計の有無	特許料の 有無																																												
			①溶液型有機系 ②溶液型無機系	(実数入力) (m)	(実 数 入 力) (L)	①無 ②有	①無 ②有																																												
						記載の変更																																													
積算上の注意事項						(控え頁) 14／14																																													

工 種	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
-----	----------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																									
現 行				改 正				備 考																																							
3. 施 工 パッケージ 3－1 削孔（アンカー） （1）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 1 削孔(アンカー) 積算条件区分一覧 (積算単位：m) <table><tr><th>足場工の有無</th><th>呼び径</th><th>土質</th></tr><tr><td rowspan="4">有り (スキッド型)</td><td>90mm</td><td rowspan="8">(表 3.2)</td></tr><tr><td>115mm</td></tr><tr><td>135mm</td></tr><tr><td>146mm</td></tr><tr><td rowspan="4">無し (クローラ型)</td><td>90mm</td></tr><tr><td>115mm</td></tr><tr><td>135mm</td></tr><tr><td>146mm</td></tr></table> (注) 1. 上表はアンカー孔の削孔、ドリルパイプの引抜き、ボーリングマシン横移動作業、削孔材料損耗品費の他、削孔水用ポンプ、給水用ポンプ、排水用ポンプ、空気圧縮機、水槽損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。 2. 呼び径とは、ドリルパイプ外径（mm）をいう。 3. 転石等土質条件が上表区分に適用しないと判断される場合は、別途考慮する。 4. 泥水処理が必要な場合は、別途計上する。 表3. 2 土質 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="5">土質</td><td>粘性土・砂質土</td></tr><tr><td>レキ質土</td></tr><tr><td>玉石混り土</td></tr><tr><td>軟岩</td></tr><tr><td>硬岩</td></tr></table> (注) 硬岩はコンクリートを含む				足場工の有無	呼び径	土質	有り (スキッド型)	90mm	(表 3.2)	115mm	135mm	146mm	無し (クローラ型)	90mm	115mm	135mm	146mm	積算条件	区分	土質	粘性土・砂質土	レキ質土	玉石混り土	軟岩	硬岩	3. 施 工 パッケージ 3－1 削孔（アンカー） （1）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 1 削孔(アンカー) 積算条件区分一覧 (積算単位：m) <table><tr><th>足場工の有無</th><th>呼び径</th><th>土質</th></tr><tr><td rowspan="4">有り (スキッド型)</td><td>90mm</td><td rowspan="8">(表 3.2)</td></tr><tr><td>115mm</td></tr><tr><td>135mm</td></tr><tr><td>146mm</td></tr><tr><td rowspan="4">無し (クローラ型)</td><td>90mm</td></tr><tr><td>115mm</td></tr><tr><td>135mm</td></tr><tr><td>146mm</td></tr></table> (注) 1. 上表はアンカー孔の削孔、ドリルパイプの引抜き、ボーリングマシン横移動作業、削孔材料損耗品費の他、削孔水用ポンプ、給水用ポンプ、排水用ポンプ、空気圧縮機、水槽損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。 2. 呼び径とは、ドリルパイプ外径（mm）をいう。 3. 転石等土質条件が上表区分に適用しないと判断される場合は、別途考慮する。 4. 泥水処理が必要な場合は、別途計上する。 5. 削孔水が現地調達できない場合は、取水に要する費用を別途考慮する。				足場工の有無	呼び径	土質	有り (スキッド型)	90mm	(表 3.2)	115mm	135mm	146mm	無し (クローラ型)	90mm	115mm	135mm	146mm	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)			
足場工の有無	呼び径	土質																																													
有り (スキッド型)	90mm	(表 3.2)																																													
	115mm																																														
	135mm																																														
	146mm																																														
無し (クローラ型)	90mm																																														
	115mm																																														
	135mm																																														
	146mm																																														
積算条件	区分																																														
土質	粘性土・砂質土																																														
	レキ質土																																														
	玉石混り土																																														
	軟岩																																														
	硬岩																																														
足場工の有無	呼び径	土質																																													
有り (スキッド型)	90mm	(表 3.2)																																													
	115mm																																														
	135mm																																														
	146mm																																														
無し (クローラ型)	90mm																																														
	115mm																																														
	135mm																																														
	146mm																																														
積算上の注意事項				現行どおり				(控え頁) 1／4																																							

工 種	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
-----	----------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																																																															
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																													
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3.3 削孔(アンカー) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td rowspan="2">K 1</td><td>ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] スキッド型 55kW 級</td><td>足場工有りの場合</td></tr><tr><td>ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] クローラ型 81kW 級</td><td>足場工無しの場合</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="17">材料</td><td rowspan="4">Z 1</td><td>インナーロッド φ90mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 90mm の場合</td></tr><tr><td>インナーロッド φ115mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 115mm の場合</td></tr><tr><td>インナーロッド φ135mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 135mm の場合</td></tr><tr><td>インナーロッド φ146mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 146mm の場合</td></tr><tr><td rowspan="4">Z 2</td><td>インナービット φ90mm 用</td><td>呼び径 90mm の場合</td></tr><tr><td>インナービット φ115mm 用</td><td>呼び径 115mm の場合</td></tr><tr><td>インナービット φ135mm 用</td><td>呼び径 135mm の場合</td></tr><tr><td>インナービット φ146mm 用</td><td>呼び径 146mm の場合</td></tr><tr><td rowspan="4">Z 3</td><td>リングビット φ90mm 用</td><td>呼び径 90mm の場合</td></tr><tr><td>リングビット φ115mm 用</td><td>呼び径 115mm の場合</td></tr><tr><td>リングビット φ135mm 用</td><td>呼び径 135mm の場合</td></tr><tr><td>リングビット φ146mm 用</td><td>呼び径 146mm の場合</td></tr><tr><td rowspan="4">Z 4</td><td>ドリルパイプ φ90mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 90mm の場合</td></tr><tr><td>ドリルパイプ φ115mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 115mm の場合</td></tr><tr><td>ドリルパイプ φ135mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 135mm の場合</td></tr><tr><td>ドリルパイプ φ146mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 146mm の場合</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] スキッド型 55kW 級	足場工有りの場合	ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] クローラ型 81kW 級	足場工無しの場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	インナーロッド φ90mm 用 (1.5m)	呼び径 90mm の場合	インナーロッド φ115mm 用 (1.5m)	呼び径 115mm の場合	インナーロッド φ135mm 用 (1.5m)	呼び径 135mm の場合	インナーロッド φ146mm 用 (1.5m)	呼び径 146mm の場合	Z 2	インナービット φ90mm 用	呼び径 90mm の場合	インナービット φ115mm 用	呼び径 115mm の場合	インナービット φ135mm 用	呼び径 135mm の場合	インナービット φ146mm 用	呼び径 146mm の場合	Z 3	リングビット φ90mm 用	呼び径 90mm の場合	リングビット φ115mm 用	呼び径 115mm の場合	リングビット φ135mm 用	呼び径 135mm の場合	リングビット φ146mm 用	呼び径 146mm の場合	Z 4	ドリルパイプ φ90mm 用 (1.5m)	呼び径 90mm の場合	ドリルパイプ φ115mm 用 (1.5m)	呼び径 115mm の場合	ドリルパイプ φ135mm 用 (1.5m)	呼び径 135mm の場合	ドリルパイプ φ146mm 用 (1.5m)	呼び径 146mm の場合	市場単価	S	—		(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3.3 削孔(アンカー) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td rowspan="2">K 1</td><td>ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] スキッド型 通称 55kW 級</td><td>足場工有りの場合</td></tr><tr><td>ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] クローラ型 通称 81kW 級</td><td>足場工無しの場合</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="17">材料</td><td rowspan="4">Z 1</td><td>ドリルパイプ φ90mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 90mm の場合</td></tr><tr><td>ドリルパイプ φ115mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 115mm の場合</td></tr><tr><td>ドリルパイプ φ135mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 135mm の場合</td></tr><tr><td>ドリルパイプ φ146mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 146mm の場合</td></tr><tr><td rowspan="4">Z 2</td><td>リングビット φ90mm 用</td><td>呼び径 90mm の場合</td></tr><tr><td>リングビット φ115mm 用</td><td>呼び径 115mm の場合</td></tr><tr><td>リングビット φ135mm 用</td><td>呼び径 135mm の場合</td></tr><tr><td>リングビット φ146mm 用</td><td>呼び径 146mm の場合</td></tr><tr><td rowspan="4">Z 3</td><td>インナーロッド φ90mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 90mm の場合</td></tr><tr><td>インナーロッド φ115mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 115mm の場合</td></tr><tr><td>インナーロッド φ135mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 135mm の場合</td></tr><tr><td>インナーロッド φ146mm 用 (1.5m)</td><td>呼び径 146mm の場合</td></tr><tr><td rowspan="4">Z 4</td><td>インナービット φ90mm 用</td><td>呼び径 90mm の場合</td></tr><tr><td>インナービット φ115mm 用</td><td>呼び径 115mm の場合</td></tr><tr><td>インナービット φ135mm 用</td><td>呼び径 135mm の場合</td></tr><tr><td>インナービット φ146mm 用</td><td>呼び径 146mm の場合</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] スキッド型 通称 55kW 級	足場工有りの場合	ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] クローラ型 通称 81kW 級	足場工無しの場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	ドリルパイプ φ90mm 用 (1.5m)	呼び径 90mm の場合	ドリルパイプ φ115mm 用 (1.5m)	呼び径 115mm の場合	ドリルパイプ φ135mm 用 (1.5m)	呼び径 135mm の場合	ドリルパイプ φ146mm 用 (1.5m)	呼び径 146mm の場合	Z 2	リングビット φ90mm 用	呼び径 90mm の場合	リングビット φ115mm 用	呼び径 115mm の場合	リングビット φ135mm 用	呼び径 135mm の場合	リングビット φ146mm 用	呼び径 146mm の場合	Z 3	インナーロッド φ90mm 用 (1.5m)	呼び径 90mm の場合	インナーロッド φ115mm 用 (1.5m)	呼び径 115mm の場合	インナーロッド φ135mm 用 (1.5m)	呼び径 135mm の場合	インナーロッド φ146mm 用 (1.5m)	呼び径 146mm の場合	Z 4	インナービット φ90mm 用	呼び径 90mm の場合	インナービット φ115mm 用	呼び径 115mm の場合	インナービット φ135mm 用	呼び径 135mm の場合	インナービット φ146mm 用	呼び径 146mm の場合	市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																																																																		
機械	K 1	ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] スキッド型 55kW 級	足場工有りの場合																																																																																																																																																		
		ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] クローラ型 81kW 級	足場工無しの場合																																																																																																																																																		
	K 2	—																																																																																																																																																			
	K 3	—																																																																																																																																																			
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																			
	R 2	土木一般世話役																																																																																																																																																			
	R 3	特殊作業員																																																																																																																																																			
	R 4	—																																																																																																																																																			
材料	Z 1	インナーロッド φ90mm 用 (1.5m)	呼び径 90mm の場合																																																																																																																																																		
		インナーロッド φ115mm 用 (1.5m)	呼び径 115mm の場合																																																																																																																																																		
		インナーロッド φ135mm 用 (1.5m)	呼び径 135mm の場合																																																																																																																																																		
		インナーロッド φ146mm 用 (1.5m)	呼び径 146mm の場合																																																																																																																																																		
	Z 2	インナービット φ90mm 用	呼び径 90mm の場合																																																																																																																																																		
		インナービット φ115mm 用	呼び径 115mm の場合																																																																																																																																																		
		インナービット φ135mm 用	呼び径 135mm の場合																																																																																																																																																		
		インナービット φ146mm 用	呼び径 146mm の場合																																																																																																																																																		
	Z 3	リングビット φ90mm 用	呼び径 90mm の場合																																																																																																																																																		
		リングビット φ115mm 用	呼び径 115mm の場合																																																																																																																																																		
		リングビット φ135mm 用	呼び径 135mm の場合																																																																																																																																																		
		リングビット φ146mm 用	呼び径 146mm の場合																																																																																																																																																		
	Z 4	ドリルパイプ φ90mm 用 (1.5m)	呼び径 90mm の場合																																																																																																																																																		
		ドリルパイプ φ115mm 用 (1.5m)	呼び径 115mm の場合																																																																																																																																																		
		ドリルパイプ φ135mm 用 (1.5m)	呼び径 135mm の場合																																																																																																																																																		
		ドリルパイプ φ146mm 用 (1.5m)	呼び径 146mm の場合																																																																																																																																																		
	市場単価	S	—																																																																																																																																																		
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																																																																		
機械	K 1	ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] スキッド型 通称 55kW 級	足場工有りの場合																																																																																																																																																		
		ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] クローラ型 通称 81kW 級	足場工無しの場合																																																																																																																																																		
	K 2	—																																																																																																																																																			
	K 3	—																																																																																																																																																			
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																			
	R 2	土木一般世話役																																																																																																																																																			
	R 3	特殊作業員																																																																																																																																																			
	R 4	—																																																																																																																																																			
材料	Z 1	ドリルパイプ φ90mm 用 (1.5m)	呼び径 90mm の場合																																																																																																																																																		
		ドリルパイプ φ115mm 用 (1.5m)	呼び径 115mm の場合																																																																																																																																																		
		ドリルパイプ φ135mm 用 (1.5m)	呼び径 135mm の場合																																																																																																																																																		
		ドリルパイプ φ146mm 用 (1.5m)	呼び径 146mm の場合																																																																																																																																																		
	Z 2	リングビット φ90mm 用	呼び径 90mm の場合																																																																																																																																																		
		リングビット φ115mm 用	呼び径 115mm の場合																																																																																																																																																		
		リングビット φ135mm 用	呼び径 135mm の場合																																																																																																																																																		
		リングビット φ146mm 用	呼び径 146mm の場合																																																																																																																																																		
	Z 3	インナーロッド φ90mm 用 (1.5m)	呼び径 90mm の場合																																																																																																																																																		
		インナーロッド φ115mm 用 (1.5m)	呼び径 115mm の場合																																																																																																																																																		
		インナーロッド φ135mm 用 (1.5m)	呼び径 135mm の場合																																																																																																																																																		
		インナーロッド φ146mm 用 (1.5m)	呼び径 146mm の場合																																																																																																																																																		
	Z 4	インナービット φ90mm 用	呼び径 90mm の場合																																																																																																																																																		
		インナービット φ115mm 用	呼び径 115mm の場合																																																																																																																																																		
		インナービット φ135mm 用	呼び径 135mm の場合																																																																																																																																																		
		インナービット φ146mm 用	呼び径 146mm の場合																																																																																																																																																		
	市場単価	S	—																																																																																																																																																		
積算上の注意事項		(控え頁) 2／4																																																																																																																																																			

工 種	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
-----	----------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																											
現 行				改 正				備 考																																																																																									
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 9 グラウト注入(アンカー) 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機 械</td><td>K 1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労 務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z 1</td><td>普通ポルトランドセメント 25kg 袋入</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機 械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労 務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材 料	Z 1	普通ポルトランドセメント 25kg 袋入		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		現行どおり																																																	
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機 械	K 1	—																																																																																															
	K 2	—																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
労 務	R 1	普通作業員																																																																																															
	R 2	土木一般世話役																																																																																															
	R 3	特殊作業員																																																																																															
	R 4	—																																																																																															
材 料	Z 1	普通ポルトランドセメント 25kg 袋入																																																																																															
	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
3-4 ボーリングマシン移設 (アンカー) (1) 条件区分 ボーリングマシン移設 (アンカー) における積算条件区分はない。 積算単位は、回とする。(据付・撤去1組で1回) (注) 1. スキッド型ボーリングマシンの据付・撤去及び上下移動 (移設) 等、その他の施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料を含む) を含む。 2. 横移動は、3-1 削孔 (アンカー) に含む。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 10 ボーリングマシン移設(アンカー) 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機 械</td><td>K 1</td><td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 25t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労 務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z 1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機 械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労 務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材 料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<table><caption>表3. 10 ボーリングマシン移設(アンカー) 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機 械</td><td>K 1</td><td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 最大吊上能力 25t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労 務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z 1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機 械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 最大吊上能力 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労 務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材 料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機 械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																																														
	K 2	—																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
労 務	R 1	普通作業員																																																																																															
	R 2	土木一般世話役																																																																																															
	R 3	特殊作業員																																																																																															
	R 4	—																																																																																															
材 料	Z 1	—																																																																																															
	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機 械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 最大吊上能力 25t 吊	賃料																																																																																														
	K 2	—																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
労 務	R 1	普通作業員																																																																																															
	R 2	土木一般世話役																																																																																															
	R 3	特殊作業員																																																																																															
	R 4	—																																																																																															
材 料	Z 1	—																																																																																															
	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
積算上の注意事項		(控え頁)																																																																																															
		3／4																																																																																															

工 種	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
-----	----------------------

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正		現 行		備 考																																																																																									
現 行				改 正				備 考																																																																																									
3－5 足場（アンカー） （1）条件区分 足場（アンカー）における積算条件区分はない。 積算単位は、空 m3 とする。 （注） 1. アンカー施工時の足場の設置・撤去作業の他、パイプ、クランプ、足場板、ベース等、その他の施工に要する全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。 2. 作業面の足場幅は、4.5m を標準とする。 （2）代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 11 足場(アンカー) 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機 械</td><td>K 1</td><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕25t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労 務</td><td>R 1</td><td>とび工</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z 1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機 械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労 務	R 1	とび工		R 2	土木一般世話役		R 3	普通作業員		R 4	—		材 料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		3－5 足場（アンカー） （1）条件区分 足場（アンカー）における積算条件区分はない。 積算単位は、空 m3 とする。 （注） 1. アンカー施工時の足場の設置・撤去作業の他、パイプ、クランプ、足場板、ベース等、その他の施工に要する全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。 2. 作業面の足場幅は、4.5m を標準とする。 （2）代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 11 足場(アンカー) 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機 械</td><td>K 1</td><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 最大吊上能力 25t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労 務</td><td>R 1</td><td>とび工</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z 1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機 械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 最大吊上能力 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労 務	R 1	とび工		R 2	土木一般世話役		R 3	普通作業員		R 4	—		材 料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機 械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕25t 吊	賃料																																																																																														
	K 2	—																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
労 務	R 1	とび工																																																																																															
	R 2	土木一般世話役																																																																																															
	R 3	普通作業員																																																																																															
	R 4	—																																																																																															
材 料	Z 1	—																																																																																															
	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機 械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 最大吊上能力 25t 吊	賃料																																																																																														
	K 2	—																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
労 務	R 1	とび工																																																																																															
	R 2	土木一般世話役																																																																																															
	R 3	普通作業員																																																																																															
	R 4	—																																																																																															
材 料	Z 1	—																																																																																															
	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
3－6 アンカー（材料費） （1）条件区分 アンカー（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、式とする。				3－6 アンカー（材料費） （1）条件区分 アンカー（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、式とする。																																																																																													
積算上の注意事項								(控え頁) 4／4																																																																																									

工 種	構造物とりこわし工
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																																																																																																																																																																																
		現 行																																																																																																																																																																																		
現 行		改 正		備 考																																																																																																																																																																																
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 2 コンクリートはつり 代表機労材規格一覧</caption><thead><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0m3/min</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></tbody></table> 3-2 積込み(コンクリート敷) (1) 条件区分 積込み(コンクリート敷)の積算条件区分はない。 積算単位は、m3 とする。 (注) 1. 構造物とりこわしで生じたりこわし設等の積込費用等,その施工に必要な機械・労務・材料を含む。 2. 施工量はとりこわし構造物の破砕前の体積とする。 3. 表3. 3 の代表機械より小型の機械を使用する場合は別途考慮する。 4. 鼓運搬については、「第Ⅱ編第2章共通工⑧鼓運搬」により、別途計上する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 3 積込(コンクリート敷) 代表機労材規格一覧</caption><thead><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2014 年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>運転手 (特殊)</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></tbody></table> (注) 上表の機械は、「第Ⅱ編第1章土工②土工②-1 土工 3-7 積込 (ルーズ)」による。 II-2-⑩-3		項目			代表機労材規格	備考	機械	K 1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0m3/min	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2014 年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手 (特殊)		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 2 コンクリートはつり 代表機労材規格一覧</caption><thead><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 (超低騒音型)・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 吐出量 4.0～5.0m3/min</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></tbody></table> 3-2 積込み(コンクリート敷) (1) 条件区分 積込み(コンクリート敷)の積算条件区分はない。 積算単位は、m3 とする。 (注) 1. 構造物とりこわしで生じたりこわし設等の積込費用等,その施工に必要な機械・労務・材料を含む。 2. 施工量はとりこわし構造物の破砕前の体積とする。 3. 表3. 3 の代表機械より小型の機械を使用する場合は別途考慮する。 4. 鼓運搬については、「第Ⅱ編第2章共通工⑧鼓運搬」により、別途計上する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 3 積込(コンクリート敷) 代表機労材規格一覧</caption><thead><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2014 年規制)] バケット容量 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>運転手 (特殊)</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></tbody></table> (注) 上表の機械は、「第Ⅱ編第1章土工②土工②-1 土工 3-7 積込 (ルーズ)」による。		項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 (超低騒音型)・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 吐出量 4.0～5.0m3/min	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2014 年規制)] バケット容量 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手 (特殊)		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—	
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																																																																																																	
機械	K 1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0m3/min	賃料																																																																																																																																																																																	
	K 2	—																																																																																																																																																																																		
	K 3	—																																																																																																																																																																																		
労務	R 1	特殊作業員																																																																																																																																																																																		
	R 2	普通作業員																																																																																																																																																																																		
	R 3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																		
	R 4	—																																																																																																																																																																																		
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																																																		
	Z 2	—																																																																																																																																																																																		
	Z 3	—																																																																																																																																																																																		
	Z 4	—																																																																																																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																		
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																																																																																																	
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2014 年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)																																																																																																																																																																																		
	K 2	—																																																																																																																																																																																		
	K 3	—																																																																																																																																																																																		
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																																		
	R 2	運転手 (特殊)																																																																																																																																																																																		
	R 3	—																																																																																																																																																																																		
	R 4	—																																																																																																																																																																																		
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																																																		
	Z 2	—																																																																																																																																																																																		
	Z 3	—																																																																																																																																																																																		
	Z 4	—																																																																																																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																		
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																																																																																																	
機械	K 1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 (超低騒音型)・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 吐出量 4.0～5.0m3/min	賃料																																																																																																																																																																																	
	K 2	—																																																																																																																																																																																		
	K 3	—																																																																																																																																																																																		
労務	R 1	特殊作業員																																																																																																																																																																																		
	R 2	普通作業員																																																																																																																																																																																		
	R 3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																		
	R 4	—																																																																																																																																																																																		
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																																																		
	Z 2	—																																																																																																																																																																																		
	Z 3	—																																																																																																																																																																																		
	Z 4	—																																																																																																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																		
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																																																																																																	
機械	K 1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2014 年規制)] バケット容量 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)																																																																																																																																																																																		
	K 2	—																																																																																																																																																																																		
	K 3	—																																																																																																																																																																																		
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																																		
	R 2	運転手 (特殊)																																																																																																																																																																																		
	R 3	—																																																																																																																																																																																		
	R 4	—																																																																																																																																																																																		
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																																																		
	Z 2	—																																																																																																																																																																																		
	Z 3	—																																																																																																																																																																																		
	Z 4	—																																																																																																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																		
積算上の注意事項				(控え頁) 1／1																																																																																																																																																																																

工 種	コンクリート削孔工
-----	-----------

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正		現 行		備 考																																																																																																																																																													
3-2 コンクリート削孔（さく岩機） （1）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.3 コンクリート削孔（さく岩機） 積算条件区分一覧 (積算単位：孔) <table><tr><th colspan="2">削孔深さ</th></tr><tr><td>100mm 以上 200mm 未満</td><td></td></tr><tr><td>200mm 以上 300mm 未満</td><td></td></tr><tr><td>300mm 以上 400mm 未満</td><td></td></tr><tr><td>400 mm以上 600 mm未満</td><td></td></tr><tr><td>600mm 以上 800mm 未満</td><td></td></tr><tr><td>800mm 以上 1,000mm 未満</td><td></td></tr><tr><td>1,000mm 以上 1,100mm 以下</td><td></td></tr></table> (注) 1. 上表は、さく岩機によるコンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、排水穴等）作業の他、ロッド、ビットの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無に関わらず適用できる。ただし、不達孔の補修にかかる費用は含まないため、必要に応じて別途考慮する。 3. 足場が必要な場合は、別途計上する。 4. 鉄筋を切断しないように事前に鉄筋位置の確認を行う場合には、共通仮設費の技術管理費にて別途計上する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3.4 コンクリート削孔（さく岩機） 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="2">代表機労材規格</th><th colspan="2">備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td colspan="2">空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（低騒音型）・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕3.5～3.7m3/min</td><td colspan="2">賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td colspan="2">さく岩機〔ハンドドリル（空圧式）〕質量15 kg級</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>K 3</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td colspan="2">特殊作業員</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>R 2</td><td colspan="2">普通作業員</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>R 3</td><td colspan="2">土木一般世話役</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>R 4</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td colspan="2">軽油 バトロール給油</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>Z 2</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>Z 3</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>Z 4</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2"></td></tr></table> II-2-15-3				削孔深さ		100mm 以上 200mm 未満		200mm 以上 300mm 未満		300mm 以上 400mm 未満		400 mm以上 600 mm未満		600mm 以上 800mm 未満		800mm 以上 1,000mm 未満		1,000mm 以上 1,100mm 以下		項目		代表機労材規格		備考		機械	K 1	空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（低騒音型）・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕3.5～3.7m3/min		賃料		K 2	さく岩機〔ハンドドリル（空圧式）〕質量15 kg級				K 3	—				労務	R 1	特殊作業員				R 2	普通作業員				R 3	土木一般世話役				R 4	—				材料	Z 1	軽油 バトロール給油				Z 2	—				Z 3	—				Z 4	—				市場単価	S	—				現行どおり (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3.4 コンクリート削孔（さく岩機） 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="2">代表機労材規格</th><th colspan="2">備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td colspan="2">空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（超低騒音型）・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕吐出量 3.5～3.7m3/min</td><td colspan="2">賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td colspan="2">さく岩機〔ハンドドリル（空圧式）〕通称質量15 kg級</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>K 3</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td colspan="2">特殊作業員</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>R 2</td><td colspan="2">普通作業員</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>R 3</td><td colspan="2">土木一般世話役</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>R 4</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td colspan="2">軽油 バトロール給油</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>Z 2</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>Z 3</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>Z 4</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td colspan="2">—</td><td colspan="2"></td></tr></table>				項目		代表機労材規格		備考		機械	K 1	空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（ 超低騒音型 ）・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕 吐出量 3.5～3.7m3/min		賃料		K 2	さく岩機〔ハンドドリル（空圧式）〕 通称質量 15 kg級				K 3	—				労務	R 1	特殊作業員				R 2	普通作業員				R 3	土木一般世話役				R 4	—				材料	Z 1	軽油 バトロール給油				Z 2	—				Z 3	—				Z 4	—				市場単価	S	—				記載の修正・削除 （歩掛改定に伴う）	
				削孔深さ																																																																																																																																																																	
100mm 以上 200mm 未満																																																																																																																																																																					
200mm 以上 300mm 未満																																																																																																																																																																					
300mm 以上 400mm 未満																																																																																																																																																																					
400 mm以上 600 mm未満																																																																																																																																																																					
600mm 以上 800mm 未満																																																																																																																																																																					
800mm 以上 1,000mm 未満																																																																																																																																																																					
1,000mm 以上 1,100mm 以下																																																																																																																																																																					
項目		代表機労材規格		備考																																																																																																																																																																	
機械	K 1	空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（低騒音型）・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕3.5～3.7m3/min		賃料																																																																																																																																																																	
	K 2	さく岩機〔ハンドドリル（空圧式）〕質量15 kg級																																																																																																																																																																			
	K 3	—																																																																																																																																																																			
労務	R 1	特殊作業員																																																																																																																																																																			
	R 2	普通作業員																																																																																																																																																																			
	R 3	土木一般世話役																																																																																																																																																																			
	R 4	—																																																																																																																																																																			
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																																			
	Z 2	—																																																																																																																																																																			
	Z 3	—																																																																																																																																																																			
	Z 4	—																																																																																																																																																																			
市場単価	S	—																																																																																																																																																																			
項目		代表機労材規格		備考																																																																																																																																																																	
機械	K 1	空気圧縮機〔可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（ 超低騒音型 ）・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕 吐出量 3.5～3.7m3/min		賃料																																																																																																																																																																	
	K 2	さく岩機〔ハンドドリル（空圧式）〕 通称質量 15 kg級																																																																																																																																																																			
	K 3	—																																																																																																																																																																			
労務	R 1	特殊作業員																																																																																																																																																																			
	R 2	普通作業員																																																																																																																																																																			
	R 3	土木一般世話役																																																																																																																																																																			
	R 4	—																																																																																																																																																																			
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																																			
	Z 2	—																																																																																																																																																																			
	Z 3	—																																																																																																																																																																			
	Z 4	—																																																																																																																																																																			
市場単価	S	—																																																																																																																																																																			
積算上の注意事項		(控え頁) 1／2																																																																																																																																																																			

工 種	コンクリート削孔工
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																																																																																																			
現 行		改 正	備 考																																																																																																																		
(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 表3. 9 コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 代表機材材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機材材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>コンクリート穿孔機[電動式コアボーリングマシン] [簡易仕様型] 最大穿孔径φ25 cm</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 3kVA</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="12">材料</td><td rowspan="8">Z 1</td><td>ダイヤモンドビット φ64.7 mm</td><td>削孔径60mm以上64mm未満の場合</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット φ77.4 mm</td><td>削孔径64mm以上77mm未満の場合</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット φ90.8 mm</td><td>削孔径77mm以上90mm未満の場合</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット φ110 mm</td><td>削孔径90mm以上110mm未満の場合</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット φ128.5 mm</td><td>削孔径110mm以上128mm未満の場合</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット φ160 mm</td><td>削孔径128mm以上160mm未満の場合</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット φ180 mm</td><td>削孔径160mm以上180mm未満の場合</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット φ204 mm</td><td>削孔径180mm以上200mm以下の場合</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>ガソリン レギュラー スタンド</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr></table>		項目		代表機材材規格	備考	機械	K 1	コンクリート穿孔機[電動式コアボーリングマシン] [簡易仕様型] 最大穿孔径φ25 cm		K 2	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 3kVA	賃料	K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	ダイヤモンドビット φ64.7 mm	削孔径60mm以上64mm未満の場合	ダイヤモンドビット φ77.4 mm	削孔径64mm以上77mm未満の場合	ダイヤモンドビット φ90.8 mm	削孔径77mm以上90mm未満の場合	ダイヤモンドビット φ110 mm	削孔径90mm以上110mm未満の場合	ダイヤモンドビット φ128.5 mm	削孔径110mm以上128mm未満の場合	ダイヤモンドビット φ160 mm	削孔径128mm以上160mm未満の場合	ダイヤモンドビット φ180 mm	削孔径160mm以上180mm未満の場合	ダイヤモンドビット φ204 mm	削孔径180mm以上200mm以下の場合	Z 2	ガソリン レギュラー スタンド		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—	(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 表3. 9 コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 代表機材材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機材材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>コンクリート穿孔機[電動式コアボーリングマシン] [簡易仕様型] 最大穿孔径φ250mm</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 3kVA</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="12">材料</td><td rowspan="8">Z 1</td><td>ダイヤモンドビット φ64.7 mm</td><td>削孔径60mm以上64mm未満の場合</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット φ77.4 mm</td><td>削孔径64mm以上77mm未満の場合</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット φ90.8 mm</td><td>削孔径77mm以上90mm未満の場合</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット φ110 mm</td><td>削孔径90mm以上110mm未満の場合</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット φ128.5 mm</td><td>削孔径110mm以上128mm未満の場合</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット φ160 mm</td><td>削孔径128mm以上160mm未満の場合</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット φ180 mm</td><td>削孔径160mm以上180mm未満の場合</td></tr><tr><td>ダイヤモンドビット φ204 mm</td><td>削孔径180mm以上200mm以下の場合</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>ガソリン レギュラー スタンド</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr></table>	項目		代表機材材規格	備考	機械	K 1	コンクリート穿孔機[電動式コアボーリングマシン] [簡易仕様型] 最大穿孔径φ250mm		K 2	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 3kVA	賃料	K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	ダイヤモンドビット φ64.7 mm	削孔径60mm以上64mm未満の場合	ダイヤモンドビット φ77.4 mm	削孔径64mm以上77mm未満の場合	ダイヤモンドビット φ90.8 mm	削孔径77mm以上90mm未満の場合	ダイヤモンドビット φ110 mm	削孔径90mm以上110mm未満の場合	ダイヤモンドビット φ128.5 mm	削孔径110mm以上128mm未満の場合	ダイヤモンドビット φ160 mm	削孔径128mm以上160mm未満の場合	ダイヤモンドビット φ180 mm	削孔径160mm以上180mm未満の場合	ダイヤモンドビット φ204 mm	削孔径180mm以上200mm以下の場合	Z 2	ガソリン レギュラー スタンド		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目		代表機材材規格	備考																																																																																																																		
機械	K 1	コンクリート穿孔機[電動式コアボーリングマシン] [簡易仕様型] 最大穿孔径φ25 cm																																																																																																																			
	K 2	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 3kVA	賃料																																																																																																																		
	K 3	—																																																																																																																			
労務	R 1	特殊作業員																																																																																																																			
	R 2	普通作業員																																																																																																																			
	R 3	土木一般世話役																																																																																																																			
	R 4	—																																																																																																																			
材料	Z 1	ダイヤモンドビット φ64.7 mm	削孔径60mm以上64mm未満の場合																																																																																																																		
		ダイヤモンドビット φ77.4 mm	削孔径64mm以上77mm未満の場合																																																																																																																		
		ダイヤモンドビット φ90.8 mm	削孔径77mm以上90mm未満の場合																																																																																																																		
		ダイヤモンドビット φ110 mm	削孔径90mm以上110mm未満の場合																																																																																																																		
		ダイヤモンドビット φ128.5 mm	削孔径110mm以上128mm未満の場合																																																																																																																		
		ダイヤモンドビット φ160 mm	削孔径128mm以上160mm未満の場合																																																																																																																		
		ダイヤモンドビット φ180 mm	削孔径160mm以上180mm未満の場合																																																																																																																		
		ダイヤモンドビット φ204 mm	削孔径180mm以上200mm以下の場合																																																																																																																		
	Z 2	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																			
	Z 3	—																																																																																																																			
	Z 4	—																																																																																																																			
	市場単価	S	—																																																																																																																		
項目		代表機材材規格	備考																																																																																																																		
機械	K 1	コンクリート穿孔機[電動式コアボーリングマシン] [簡易仕様型] 最大穿孔径φ250mm																																																																																																																			
	K 2	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 3kVA	賃料																																																																																																																		
	K 3	—																																																																																																																			
労務	R 1	特殊作業員																																																																																																																			
	R 2	普通作業員																																																																																																																			
	R 3	土木一般世話役																																																																																																																			
	R 4	—																																																																																																																			
材料	Z 1	ダイヤモンドビット φ64.7 mm	削孔径60mm以上64mm未満の場合																																																																																																																		
		ダイヤモンドビット φ77.4 mm	削孔径64mm以上77mm未満の場合																																																																																																																		
		ダイヤモンドビット φ90.8 mm	削孔径77mm以上90mm未満の場合																																																																																																																		
		ダイヤモンドビット φ110 mm	削孔径90mm以上110mm未満の場合																																																																																																																		
		ダイヤモンドビット φ128.5 mm	削孔径110mm以上128mm未満の場合																																																																																																																		
		ダイヤモンドビット φ160 mm	削孔径128mm以上160mm未満の場合																																																																																																																		
		ダイヤモンドビット φ180 mm	削孔径160mm以上180mm未満の場合																																																																																																																		
		ダイヤモンドビット φ204 mm	削孔径180mm以上200mm以下の場合																																																																																																																		
	Z 2	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																			
	Z 3	—																																																																																																																			
	Z 4	—																																																																																																																			
	市場単価	S	—																																																																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																																																																																		

工 種	目地・止水板設置工
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正	改 正	現 行	
現 行		改 正		備 考
⑱ 目地・止水板設置工 1. 適 用 範 囲 本資料は、目地板、止水板、シール材を設置する作業に適用する。 1－1 適用出来る範囲 1－1－1 目地板 （1）目地板（厚さ 10～20mm）を水門、樋門、樋管、水路、ボックスカルバート、擁壁、天端コンクリート、地覆・壁高欄等に設置する場合 1－1－2 止水板 （1）止水板（幅 100～300mm）を水門、樋門、樋管、水路、ボックスカルバート、擁壁等に設置する場合 1－1－3 シール材 （1）シーリング材を新設の橋梁地覆、壁高欄、砂防（収縮継手部）、ボックスカルバート、水路等に設置する場合 1－2 適用出来ない範囲 1－2－1 目地板 （1）現場打擁壁工（1）、共同溝工（1）・（2）、ボックスカルバートのうち函渠工（1）の場合 1－2－2 止水板 （1）共同溝工（1）・（2）、ボックスカルバートのうち函渠工（1）、砂防ダムの場合 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 材 料 搬 入 型 枠 設 置 止 水 板 設 置 目 地 板 設 置 コン クリ ート 打 設 型 枠 撤 去 シ ー ル 材 設 置 必要分繰り返す （注）1．本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2．止水板設置及びシール材設置は、必要に応じて計上すること。 Ⅱ-2-⑱-1		⑱ 目地・止水板設置工 1. 適 用 範 囲 本資料は、目地板、止水板、シール材を設置する作業に適用する。 1－1 適用出来る範囲 1－1－1 目地板 （1）目地板（厚さ 10～20mm）を水門、樋門、樋管、水路、ボックスカルバート、擁壁、天端コンクリート、地覆・壁高欄等に設置する目地板が、工事当り 0.3m2 以上の場合 1－1－2 止水板 （1）止水板（幅 100～300mm）を水門、樋門、樋管、水路、ボックスカルバート、擁壁等に設置する止水板が、工事当り 3.2m 以上の場合 1－1－3 シール材 （1）シーリング材を新設の橋梁地覆、壁高欄、砂防（収縮継手部）、ボックスカルバート、水路等に設置するシール材が、工事当り 4.8m 以上の場合 1－2 適用出来ない範囲 1－2－1 目地板 （1）現場打擁壁工（1）、共同溝工（1）・（2）、ボックスカルバートのうち函渠工（1）の場合 1－2－2 止水板 （1）共同溝工（1）・（2）、ボックスカルバートのうち函渠工（1）、砂防ダムの場合 現行どおり	記載の修正・削除 （歩掛改定に伴う）	（控え頁） 1／1
積算上の注意事項				

工 種	旧橋撤去工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正	改 正		現 行	備 考																																																																				
現 行			改 正			備 考																																																																				
3. 施工パッケージ 3-1 高欄撤去 (1) 条件区分 高欄撤去における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 1. 旧橋撤去における高欄（鋼製、橋梁用ガードレール、アルミ）の切断から運搬車両への積み込みまでの費用の他、高欄等の切断に必要なガス切断機損料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤーロープ等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 設計数量は、高欄撤去の総延長であり、両車線の総撤去延長である。 3. コンクリート高欄（壁高欄含む）は床版1次破砕を含む。 4. 高欄撤去で生じた現場発生品の運搬については、別途計上する。 5. 高欄撤去で生じた現場発生品については、別途適正に処理する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3.1 高欄撤去 代表機労材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>トラック〔クレーン装置付〕 ベーストラック 4～4.5 t 積・吊能力 2.9t</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>溶接工</td></tr><tr><td>R 2</td><td>特殊作業員</td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手（特殊）</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr></table> 3-2 アスファルト舗装版破砕・積込み (1) 条件区分 アスファルト舗装版破砕・積込みにおける積算条件区分はない。 積算単位は、m3 とする。 (注) 1. 旧橋撤去における大型ブレーカによるアスファルト舗装版の破砕から運搬車両への積み込みの他、チゼルの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 設計数量は、アスファルト舗装版のみの体積である。 3. アスファルト塊の積込みは、大型ブレーカのベースマシンであるバックホウによるものであり、大型ブレーカからバケットに付替える方法を標準とする。 4. アスファルト舗装版破砕で生じた、アスファルト塊の運搬は「3-7 アスファルト塊運搬」により、別途計上する。 5. アスファルト塊処理費は、別途考慮する。 II-2-⑬-5			表3.1 高欄撤去 代表機労材規格一覧			項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1	トラック〔クレーン装置付〕 ベーストラック 4～4.5 t 積・吊能力 2.9t	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	溶接工	R 2	特殊作業員	R 3	土木一般世話役	R 4	運転手（特殊）	材料	Z 1	軽油 バトロール給油	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	現行どおり (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3.1 高欄撤去 代表機労材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>トラック〔クレーン装置付〕 ベーストラック 通称 4～4.5t 積載→吊能力 2.9t</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>溶接工</td></tr><tr><td>R 2</td><td>特殊作業員</td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手（特殊）</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr></table>			表3.1 高欄撤去 代表機労材規格一覧			項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1	トラック〔クレーン装置付〕 ベーストラック 通称 4～4.5t 積載→吊能力 2.9t	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	溶接工	R 2	特殊作業員	R 3	土木一般世話役	R 4	運転手（特殊）	材料	Z 1	軽油 バトロール給油	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
表3.1 高欄撤去 代表機労材規格一覧																																																																										
項目	代表機労材規格	備考																																																																								
機械	K 1	トラック〔クレーン装置付〕 ベーストラック 4～4.5 t 積・吊能力 2.9t																																																																								
	K 2	—																																																																								
	K 3	—																																																																								
労務	R 1	溶接工																																																																								
	R 2	特殊作業員																																																																								
	R 3	土木一般世話役																																																																								
	R 4	運転手（特殊）																																																																								
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																								
	Z 2	—																																																																								
	Z 3	—																																																																								
	Z 4	—																																																																								
市場単価	S	—																																																																								
表3.1 高欄撤去 代表機労材規格一覧																																																																										
項目	代表機労材規格	備考																																																																								
機械	K 1	トラック〔クレーン装置付〕 ベーストラック 通称 4～4.5t 積載→吊能力 2.9t																																																																								
	K 2	—																																																																								
	K 3	—																																																																								
労務	R 1	溶接工																																																																								
	R 2	特殊作業員																																																																								
	R 3	土木一般世話役																																																																								
	R 4	運転手（特殊）																																																																								
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																								
	Z 2	—																																																																								
	Z 3	—																																																																								
	Z 4	—																																																																								
市場単価	S	—																																																																								
積算上の注意事項		(控え頁) 1／11																																																																								

工 種	旧橋撤去工
-----	-------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																																																																									
現 行		改 正																																																																																									
(2) 代表機劳材規格 下表機劳材は、当該施工パッケージで使用されている機劳材の代表的な規格である。 表3. 2 アスファルト舗装版破碎・積込み 代表機劳材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th></th><th>代表機劳材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕 質量 600～800kg 級</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3-3 床版1次破碎・撤去 (1) 条件区分 床版1次破碎・撤去における積算条件区分はない。 積算単位は、m3とする。 (注) 1. 床版をブロック状（1ブロック当りの大きさは、おおよそ2m×5m程度）に1次破碎後、鉄筋をガス切断したのちクレーンで吊上げて、床版分割ブロックを作業半径内における1次仮置場に仮置きする、もしくは直接積込む作業の他、チゼルの損耗費及び鉄筋切断に必要なガス切断機損料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤーロープ等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 設計数量は、床版の体積である。なお、コンクリート舗装版及びコンクリート高欄（壁高欄含む）の場合についても設計数量を含む。 3. コンクリート殻の積込みは、大型ブレーカのベースマシンであるバックホウによるものであり、大型ブレーカからバケットに付替える方法を標準とする。 4. 床版1次破碎・撤去後における運搬については「3-8 床版運搬」により、別途計上する。 5. 床版1次破碎で生じたコンクリート殻処理費は、別途計上する。		項目		代表機劳材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）		K 2	大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕 質量 600～800kg 級		K 3	—		労務	R 1	土木一般世話役		R 2	運転手（特殊）		R 3	普通作業員		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		(2) 代表機劳材規格 下表機劳材は、当該施工パッケージで使用されている機劳材の代表的な規格である。 表3. 2 アスファルト舗装版破碎・積込み 代表機劳材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th></th><th>代表機劳材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量山積0.8m3(平積0.6m3)</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕 通称 600～800kg 級</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 現行どおり	項目		代表機劳材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量 山積0.8m3(平積0.6m3)		K 2	大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕 通称 600～800kg 級		K 3	—		労務	R 1	土木一般世話役		R 2	運転手（特殊）		R 3	普通作業員		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目		代表機劳材規格	備考																																																																																								
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）																																																																																									
	K 2	大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕 質量 600～800kg 級																																																																																									
	K 3	—																																																																																									
労務	R 1	土木一般世話役																																																																																									
	R 2	運転手（特殊）																																																																																									
	R 3	普通作業員																																																																																									
	R 4	—																																																																																									
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																									
	Z 2	—																																																																																									
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
項目		代表機劳材規格	備考																																																																																								
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量 山積0.8m3(平積0.6m3)																																																																																									
	K 2	大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕 通称 600～800kg 級																																																																																									
	K 3	—																																																																																									
労務	R 1	土木一般世話役																																																																																									
	R 2	運転手（特殊）																																																																																									
	R 3	普通作業員																																																																																									
	R 4	—																																																																																									
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																									
	Z 2	—																																																																																									
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 2/11																																																																																								

工 種	旧橋撤去工
-----	-------

改 正 理 由	一部改正	改 正																																																															
		現 行																																																															
現 行		改 正	備 考																																																														
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 3 床版1次破碎・撤去 代表機労材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 25t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2 バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）</td><td></td></tr><tr><td>K 3 大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕 質量 600～800kg 級</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 溶接工</td><td></td></tr><tr><td>R 2 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4 特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 ー</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S ー</td><td></td></tr></table>		項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 25t 吊	賃料	K 2 バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）		K 3 大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕 質量 600～800kg 級		労務	R 1 溶接工		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 軽油 バトロール給油		Z 2 ー		Z 3 ー		Z 4 ー		市場単価	S ー		(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 3 床版1次破碎・撤去 代表機労材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 25t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2 バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 バケット容量山積0.8m3(平積0.6m3)</td><td></td></tr><tr><td>K 3 大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕 通称 600～800kg 級</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 溶接工</td><td></td></tr><tr><td>R 2 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4 運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 ー</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S ー</td><td></td></tr></table>	項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 25t 吊	賃料	K 2 バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 バケット容量 山積0.8m3(平積0.6m3)		K 3 大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕 通称 600～800kg 級		労務	R 1 溶接工		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 運転手（特殊）		材料	Z 1 軽油 バトロール給油		Z 2 ー		Z 3 ー		Z 4 ー		市場単価	S ー		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目	代表機労材規格	備考																																																															
機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 25t 吊	賃料																																																															
	K 2 バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）																																																																
	K 3 大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕 質量 600～800kg 級																																																																
労務	R 1 溶接工																																																																
	R 2 普通作業員																																																																
	R 3 土木一般世話役																																																																
	R 4 特殊作業員																																																																
材料	Z 1 軽油 バトロール給油																																																																
	Z 2 ー																																																																
	Z 3 ー																																																																
	Z 4 ー																																																																
市場単価	S ー																																																																
項目	代表機労材規格	備考																																																															
機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 25t 吊	賃料																																																															
	K 2 バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 バケット容量 山積0.8m3(平積0.6m3)																																																																
	K 3 大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕 通称 600～800kg 級																																																																
労務	R 1 溶接工																																																																
	R 2 普通作業員																																																																
	R 3 土木一般世話役																																																																
	R 4 運転手（特殊）																																																																
材料	Z 1 軽油 バトロール給油																																																																
	Z 2 ー																																																																
	Z 3 ー																																																																
	Z 4 ー																																																																
市場単価	S ー																																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 3／11																																																														

工 種	旧橋撤去工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																																																									
現 行				改 正				備 考																																																																																									
3－4 床版1次及び2次破碎・撤去 (1) 条件区分 床版1次及び2次破碎・撤去における積算条件区分はない。 積算単位は、m3とする。 (注) 1. 1次破碎作業（作業内容は「3－3 床版1次破碎・撤去」(注) 1. 参照)の後、その床版分割ブロックをおおよそ30 cm×30 cm程度まで破碎（2次破碎）及び積込む作業の他、チゼルの損耗費及び鉄筋切断に必要なガス切断機損料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤーロープ等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 設計数量は、床版の体積である。なお、コンクリート舗装版及びコンクリート高欄（壁高欄含む）の場合についても設計数量を含む。 3. コンクリート殻の積込みは、大型ブレーカのベースマシンであるバックホウによるものであり、大型ブレーカからバケットに付替える方法を標準とする。 4. 床版1次破碎・撤去で生じたコンクリート殻の運搬については「3－8 床版運搬」により、別途計上する。 5. 床版2次破碎・撤去で生じたコンクリート殻の運搬については「第Ⅱ編第2章共通工③殻運搬」により、別途計上する。 6. 床版2次破碎までに生じたコンクリート殻の処理費は、別途計上する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 4 床版1次及び2次破碎・撤去 代表機労材規格一覧</caption><tr><th>項目</th><th colspan="2">代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 25 t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕質量 600～800kg 級</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>溶接工</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td><td></td></tr></table> II-2-⑩-8				項目	代表機労材規格		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 25 t 吊	賃料	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）		K 3	大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕質量 600～800kg 級		労務	R 1	溶接工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	－		Z 3	－		Z 4	－		市場単価	S	－		現行どおり (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 4 床版1次及び2次破碎・撤去 代表機労材規格一覧</caption><tr><th>項目</th><th colspan="2">代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 最大吊上能力 25 t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量山積0.8m3(平積0.6m3)</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕通称 600～800kg 級</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>溶接工</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td><td></td></tr></table>				項目	代表機労材規格		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 最大吊上能力 25 t 吊	賃料	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量 山積 0.8m3(平積 0.6m3)		K 3	大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕 通称 600～800kg 級		労務	R 1	溶接工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手（特殊）		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	－		Z 3	－		Z 4	－		市場単価	S	－		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
項目	代表機労材規格		備考																																																																																														
機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 25 t 吊	賃料																																																																																														
	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）																																																																																															
	K 3	大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕質量 600～800kg 級																																																																																															
労務	R 1	溶接工																																																																																															
	R 2	普通作業員																																																																																															
	R 3	土木一般世話役																																																																																															
	R 4	特殊作業員																																																																																															
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																															
	Z 2	－																																																																																															
	Z 3	－																																																																																															
	Z 4	－																																																																																															
市場単価	S	－																																																																																															
項目	代表機労材規格		備考																																																																																														
機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 最大吊上能力 25 t 吊	賃料																																																																																														
	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量 山積 0.8m3(平積 0.6m3)																																																																																															
	K 3	大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕 通称 600～800kg 級																																																																																															
労務	R 1	溶接工																																																																																															
	R 2	普通作業員																																																																																															
	R 3	土木一般世話役																																																																																															
	R 4	運転手（特殊）																																																																																															
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																															
	Z 2	－																																																																																															
	Z 3	－																																																																																															
	Z 4	－																																																																																															
市場単価	S	－																																																																																															
積算上の注意事項		(控え頁) 4／11																																																																																															

工 種	旧橋撤去工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																
現 行				改 正				備 考																														
3－5 桁1次切断・撤去 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 5 桁1次切断・撤去 積算条件区分一覧 (積算単位：t) <table><tr><td>クレーン規格</td><td>相吊クレーンの有無</td><td>相吊クレーン規格</td></tr><tr><td rowspan="2">(表 3. 6)</td><td>有り</td><td>(表 3. 6)</td></tr><tr><td>無し</td><td>－</td></tr></table> (注) 1. 上表は、桁材の撤去及び積込みの他、切断作業に必要なガス切断機損料、酸素・アセチレン、玉掛作業に必要なワイヤーロープ等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 撤去部材の大きさと現場条件に応じてクレーンの機種・規格を決定する。 3. 桁材の運搬については別途計上する。 4. 桁1次切断・撤去で生じた現場発生品については、別途適正に処理する。 表3. 6 クレーン規格(相吊クレーン規格) <table><tr><td>積算条件</td><td>区分</td></tr><tr><td rowspan="8">クレーン規格 (相吊クレーン規格)</td><td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25t 吊</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 35t 吊</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 50t 吊</td></tr><tr><td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 100t 吊</td></tr><tr><td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 120t 吊</td></tr><tr><td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 160t 吊</td></tr><tr><td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 200t 吊</td></tr><tr><td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 360t 吊</td></tr></table>				クレーン規格	相吊クレーンの有無	相吊クレーン規格	(表 3. 6)	有り	(表 3. 6)	無し	－	積算条件	区分	クレーン規格 (相吊クレーン規格)	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 35t 吊	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 50t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 100t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 120t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 160t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 200t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 360t 吊	現行どおり 表3. 6 クレーン規格(相吊クレーン規格) <table><tr><td>積算条件</td><td>区分</td></tr><tr><td rowspan="8">クレーン規格 (相吊クレーン規格)</td><td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 25t 吊</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 35t 吊</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 50t 吊</td></tr><tr><td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 100t 吊</td></tr><tr><td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 120t 吊</td></tr><tr><td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 160t 吊</td></tr><tr><td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 200t 吊</td></tr><tr><td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 360t 吊</td></tr></table>				積算条件	区分	クレーン規格 (相吊クレーン規格)	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 25t 吊	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 35t 吊	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 50t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 100t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 120t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 160t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 200t 吊	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 360t 吊	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
クレーン規格	相吊クレーンの有無	相吊クレーン規格																																				
(表 3. 6)	有り	(表 3. 6)																																				
	無し	－																																				
積算条件	区分																																					
クレーン規格 (相吊クレーン規格)	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25t 吊																																					
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 35t 吊																																					
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 50t 吊																																					
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 100t 吊																																					
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 120t 吊																																					
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 160t 吊																																					
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 200t 吊																																					
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 360t 吊																																					
積算条件	区分																																					
クレーン規格 (相吊クレーン規格)	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 25t 吊																																					
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 35t 吊																																					
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 50t 吊																																					
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 100t 吊																																					
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 120t 吊																																					
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 160t 吊																																					
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 200t 吊																																					
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力 360t 吊																																					
積算上の注意事項		(控え頁)																																				
		5／11																																				

工 種	旧橋撤去工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																																																																							
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																																					
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3. 7 桁1次切断・撤去 代表機労材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="18">機 械</td><td rowspan="8">K 1</td><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 25t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)〕 35t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 50t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 360t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td rowspan="8">K 2</td><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 25t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)〕 35t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 50t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 360t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労 務</td><td>R 1</td><td>溶接工</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z 1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				表3. 7 桁1次切断・撤去 代表機労材規格一覧			項目	代表機労材規格	備考	機 械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 25t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)〕 35t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 50t 吊	賃料	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊	賃料	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊	賃料	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊	賃料	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊	賃料	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 360t 吊	賃料	K 2	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 25t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)〕 35t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 50t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 360t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	K 3	—		労 務	R 1	溶接工		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	普通作業員		材 料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3. 7 桁1次切断・撤去 代表機労材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="18">機 械</td><td rowspan="8">K 1</td><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 25t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)〕 最大吊上能力 35t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 50t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 100t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 120t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 160t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 200t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 360t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td rowspan="8">K 2</td><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 25t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)〕 最大吊上能力 35t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 50t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 100t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 120t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 160t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 200t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 360t 吊(相吊)</td><td>・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労 務</td><td>R 1</td><td>溶接工</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z 1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				表3. 7 桁1次切断・撤去 代表機労材規格一覧			項目	代表機労材規格	備考	機 械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 25t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)〕 最大吊上能力 35t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 50t 吊	賃料	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 100t 吊	賃料	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 120t 吊	賃料	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 160t 吊	賃料	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 200t 吊	賃料	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 360t 吊	賃料	K 2	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 25t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)〕 最大吊上能力 35t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 50t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 100t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 120t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 160t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 200t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 360t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く	K 3	—		労 務	R 1	溶接工		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	普通作業員		材 料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
表3. 7 桁1次切断・撤去 代表機労材規格一覧																																																																																																																																																													
項目	代表機労材規格	備考																																																																																																																																																											
機 械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 25t 吊	賃料																																																																																																																																																										
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)〕 35t 吊	賃料																																																																																																																																																										
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 50t 吊	賃料																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊	賃料																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊	賃料																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊	賃料																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊	賃料																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 360t 吊	賃料																																																																																																																																																										
	K 2	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 25t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)〕 35t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 50t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 360t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
	K 3	—																																																																																																																																																											
	労 務	R 1	溶接工																																																																																																																																																										
R 2		特殊作業員																																																																																																																																																											
R 3		土木一般世話役																																																																																																																																																											
R 4		普通作業員																																																																																																																																																											
材 料	Z 1	—																																																																																																																																																											
	Z 2	—																																																																																																																																																											
	Z 3	—																																																																																																																																																											
	Z 4	—																																																																																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																																																																																											
表3. 7 桁1次切断・撤去 代表機労材規格一覧																																																																																																																																																													
項目	代表機労材規格	備考																																																																																																																																																											
機 械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 25t 吊	賃料																																																																																																																																																										
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)〕 最大吊上能力 35t 吊	賃料																																																																																																																																																										
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 50t 吊	賃料																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 100t 吊	賃料																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 120t 吊	賃料																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 160t 吊	賃料																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 200t 吊	賃料																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 最大吊上能力 360t 吊	賃料																																																																																																																																																										
	K 2	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 25t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)〕 最大吊上能力 35t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 最大吊上能力 50t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 100t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 120t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 160t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 200t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕最大吊上能力 360t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く																																																																																																																																																										
	K 3	—																																																																																																																																																											
	労 務	R 1	溶接工																																																																																																																																																										
R 2		特殊作業員																																																																																																																																																											
R 3		土木一般世話役																																																																																																																																																											
R 4		普通作業員																																																																																																																																																											
材 料	Z 1	—																																																																																																																																																											
	Z 2	—																																																																																																																																																											
	Z 3	—																																																																																																																																																											
	Z 4	—																																																																																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																																																																																											
積算上の注意事項		(控え頁)																																																																																																																																																											
		6／11																																																																																																																																																											

工 種	旧橋撤去工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																																													
現 行				改 正		備 考																																																																																																											
表3.12 運搬距離(2) <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="16">運搬距離</td><td>0.3km 以下</td></tr><tr><td>0.5km 以下</td></tr><tr><td>1.0km 以下</td></tr><tr><td>1.5km 以下</td></tr><tr><td>2.0km 以下</td></tr><tr><td>3.0km 以下</td></tr><tr><td>3.5km 以下</td></tr><tr><td>5.0km 以下</td></tr><tr><td>6.0km 以下</td></tr><tr><td>7.0km 以下</td></tr><tr><td>8.5km 以下</td></tr><tr><td>11.0km 以下</td></tr><tr><td>14.0km 以下</td></tr><tr><td>19.5km 以下</td></tr><tr><td>31.5km 以下</td></tr><tr><td>60.0km 以下</td></tr></table> (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3.13 アスファルト塊運搬 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級</td><td>タイヤ損耗費及び補修費 (良好)を含む</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>運転手 (一般)</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> II-2-⑩-14				積算条件	区分	運搬距離	0.3km 以下	0.5km 以下	1.0km 以下	1.5km 以下	2.0km 以下	3.0km 以下	3.5km 以下	5.0km 以下	6.0km 以下	7.0km 以下	8.5km 以下	11.0km 以下	14.0km 以下	19.5km 以下	31.5km 以下	60.0km 以下	項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	タイヤ損耗費及び補修費 (良好)を含む	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手 (一般)		R 2	—		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		現行どおり (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3.13 アスファルト塊運搬 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称10 t 積級</td><td>タイヤ損耗費及び補修費 (良好)を含む</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>運転手 (一般)</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>		項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称 10 t 積級	タイヤ損耗費及び補修費 (良好)を含む	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手 (一般)		R 2	—		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
積算条件	区分																																																																																																																
運搬距離	0.3km 以下																																																																																																																
	0.5km 以下																																																																																																																
	1.0km 以下																																																																																																																
	1.5km 以下																																																																																																																
	2.0km 以下																																																																																																																
	3.0km 以下																																																																																																																
	3.5km 以下																																																																																																																
	5.0km 以下																																																																																																																
	6.0km 以下																																																																																																																
	7.0km 以下																																																																																																																
	8.5km 以下																																																																																																																
	11.0km 以下																																																																																																																
	14.0km 以下																																																																																																																
	19.5km 以下																																																																																																																
	31.5km 以下																																																																																																																
	60.0km 以下																																																																																																																
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																														
機械	K 1	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	タイヤ損耗費及び補修費 (良好)を含む																																																																																																														
	K 2	—																																																																																																															
	K 3	—																																																																																																															
労務	R 1	運転手 (一般)																																																																																																															
	R 2	—																																																																																																															
	R 3	—																																																																																																															
	R 4	—																																																																																																															
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																															
	Z 2	—																																																																																																															
	Z 3	—																																																																																																															
	Z 4	—																																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																																															
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																														
機械	K 1	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称 10 t 積級	タイヤ損耗費及び補修費 (良好)を含む																																																																																																														
	K 2	—																																																																																																															
	K 3	—																																																																																																															
労務	R 1	運転手 (一般)																																																																																																															
	R 2	—																																																																																																															
	R 3	—																																																																																																															
	R 4	—																																																																																																															
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																															
	Z 2	—																																																																																																															
	Z 3	—																																																																																																															
	Z 4	—																																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																																															
積算上の注意事項		(控え頁) 8／11																																																																																																															

工 種	旧橋撤去工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正	改 正		現 行	備 考																																																																									
3－8 床版運搬 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 14 床版運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>運搬距離</th></tr><tr><td>0.7km 以下</td></tr><tr><td>2.2km 以下</td></tr><tr><td>5.0km 以下</td></tr><tr><td>7.9km 以下</td></tr><tr><td>12.1km 以下</td></tr><tr><td>17.8km 以下</td></tr><tr><td>25.0km 以下</td></tr><tr><td>34.9km 以下</td></tr><tr><td>47.8km 以下</td></tr><tr><td>60.0km 以下</td></tr></table> (注) 1. 上表は、床版1次破砕後のコンクリート殻の運搬の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛かる費用を含む。 3. タイヤ損耗の「良好」「普通」「不良」にかかわらず適用出来る。 4. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。 5. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。 6. D I D (人口集中地区)区間の通過にかかわらず適用出来る。 7. 運搬距離が60 kmを超える場合は、別途考慮する。 8. 床版2次破砕後における運搬については「第Ⅱ編第2章共通工事施設運搬」により、別途計上する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 15 床版運搬 代表機労材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級</td><td>タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td></tr><tr><td>K 2 ー</td><td></td></tr><tr><td>K 3 ー</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 運転手 (一般)</td><td></td></tr><tr><td>R 2 ー</td><td></td></tr><tr><td>R 3 ー</td><td></td></tr><tr><td>R 4 ー</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 ー</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S ー</td><td></td></tr></table> Ⅱ-2-⑨-15			運搬距離	0.7km 以下	2.2km 以下	5.0km 以下	7.9km 以下	12.1km 以下	17.8km 以下	25.0km 以下	34.9km 以下	47.8km 以下	60.0km 以下	項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K 2 ー		K 3 ー		労務	R 1 運転手 (一般)		R 2 ー		R 3 ー		R 4 ー		材料	Z 1 軽油 バトロール給油		Z 2 ー		Z 3 ー		Z 4 ー		市場単価	S ー		現行どおり (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 15 床版運搬 代表機労材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称 10t 積級</td><td>タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td></tr><tr><td>K 2 ー</td><td></td></tr><tr><td>K 3 ー</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 運転手 (一般)</td><td></td></tr><tr><td>R 2 ー</td><td></td></tr><tr><td>R 3 ー</td><td></td></tr><tr><td>R 4 ー</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 ー</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S ー</td><td></td></tr></table>			項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称 10t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K 2 ー		K 3 ー		労務	R 1 運転手 (一般)		R 2 ー		R 3 ー		R 4 ー		材料	Z 1 軽油 バトロール給油		Z 2 ー		Z 3 ー		Z 4 ー		市場単価	S ー		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
			運搬距離																																																																												
0.7km 以下																																																																															
2.2km 以下																																																																															
5.0km 以下																																																																															
7.9km 以下																																																																															
12.1km 以下																																																																															
17.8km 以下																																																																															
25.0km 以下																																																																															
34.9km 以下																																																																															
47.8km 以下																																																																															
60.0km 以下																																																																															
項目	代表機労材規格	備考																																																																													
機械	K 1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																													
	K 2 ー																																																																														
	K 3 ー																																																																														
労務	R 1 運転手 (一般)																																																																														
	R 2 ー																																																																														
	R 3 ー																																																																														
	R 4 ー																																																																														
材料	Z 1 軽油 バトロール給油																																																																														
	Z 2 ー																																																																														
	Z 3 ー																																																																														
	Z 4 ー																																																																														
市場単価	S ー																																																																														
項目	代表機労材規格	備考																																																																													
機械	K 1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 通称 10t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																													
	K 2 ー																																																																														
	K 3 ー																																																																														
労務	R 1 運転手 (一般)																																																																														
	R 2 ー																																																																														
	R 3 ー																																																																														
	R 4 ー																																																																														
材料	Z 1 軽油 バトロール給油																																																																														
	Z 2 ー																																																																														
	Z 3 ー																																																																														
	Z 4 ー																																																																														
市場単価	S ー																																																																														
積算上の注意事項			(控え頁)																																																																												
			9／11																																																																												

工 種	旧橋撤去工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正				改 正																																																																																									
		現 行				現 行																																																																																									
現 行						改 正				備 考																																																																																					
(6) 桁 1 次及び2次切断・撤去 <table><tr><td>バックージョード</td><td>CB224980</td><td>施工単位</td><td>t</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="5">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="5">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td></tr><tr><td>クレーン</td><td>相吊クレーン</td><td>相吊クレーン</td><td>ラフテレーンクレーン</td><td>トラッククレーン</td></tr><tr><td>規格</td><td>の有無</td><td>規格</td><td>賃料補正係数</td><td>賃料補正係数</td></tr><tr><td></td><td>①有り</td><td></td><td>①標準 (1.0)</td><td>①標準 (1.0)</td></tr><tr><td>(表 4.1)</td><td>②無し</td><td>(表 4.1)</td><td>②標準以外 (実数入力)</td><td>②標準以外 (実数入力)</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件, J 3 条件共に①～③を選択した場合は, J 5 条件は入力する必要はない。また, J 1 条件, J 3 条件共に④～⑧を選択した場合は, J 4 条件は入力する必要はない。 2. J 2 条件で②を選択した場合は, J 3 条件は入力する必要はない。 3. 本コードは, ラフテレーンクレーン及びトラッククレーンの賃料補正 (夜間補正) を行った場合は, 労務費調整係数も入力すること。 4. 桁の運搬については, 別途計上する。 表4. 1 クレーンの規格 <table><tr><th colspan="2">規 格</th><th>入力番号</th></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>25t 吊</td><td>①</td></tr><tr><td>排 出 ガ ス 対 策 型</td><td>35t 吊</td><td>②</td></tr><tr><td>油 圧 伸 縮 ジ ブ 型</td><td>50t 吊</td><td>③</td></tr><tr><td rowspan="5">ト ラ ッ ク ク レ ー ン</td><td>100t 吊</td><td>④</td></tr><tr><td>120t 吊</td><td>⑤</td></tr><tr><td>160t 吊</td><td>⑥</td></tr><tr><td>200t 吊</td><td>⑦</td></tr><tr><td>360t 吊</td><td>⑧</td></tr></table> Ⅱ-2-⑩-19						バックージョード	CB224980	施工単位	t	施工区分	入 力 条 件					各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	クレーン	相吊クレーン	相吊クレーン	ラフテレーンクレーン	トラッククレーン	規格	の有無	規格	賃料補正係数	賃料補正係数		①有り		①標準 (1.0)	①標準 (1.0)	(表 4.1)	②無し	(表 4.1)	②標準以外 (実数入力)	②標準以外 (実数入力)	規 格		入力番号	ラフテレーンクレーン	25t 吊	①	排 出 ガ ス 対 策 型	35t 吊	②	油 圧 伸 縮 ジ ブ 型	50t 吊	③	ト ラ ッ ク ク レ ー ン	100t 吊	④	120t 吊	⑤	160t 吊	⑥	200t 吊	⑦	360t 吊	⑧	現行どおり 表4. 1 クレーンの規格 <table><tr><th colspan="2">規 格</th><th>入力番号</th></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>最大吊上能力 25t 吊</td><td>①</td></tr><tr><td>排 出 ガ ス 対 策 型</td><td>最大吊上能力 35t 吊</td><td>②</td></tr><tr><td>油 圧 伸 縮 ジ ブ 型</td><td>最大吊上能力 50t 吊</td><td>③</td></tr><tr><td rowspan="5">ト ラ ッ ク ク レ ー ン</td><td>最大吊上能力 100t 吊</td><td>④</td></tr><tr><td>最大吊上能力 120t 吊</td><td>⑤</td></tr><tr><td>最大吊上能力 160t 吊</td><td>⑥</td></tr><tr><td>最大吊上能力 200t 吊</td><td>⑦</td></tr><tr><td>最大吊上能力 360t 吊</td><td>⑧</td></tr></table>						規 格		入力番号	ラフテレーンクレーン	最大吊上能力 25t 吊	①	排 出 ガ ス 対 策 型	最大吊上能力 35t 吊	②	油 圧 伸 縮 ジ ブ 型	最大吊上能力 50t 吊	③	ト ラ ッ ク ク レ ー ン	最大吊上能力 100t 吊	④	最大吊上能力 120t 吊	⑤	最大吊上能力 160t 吊	⑥	最大吊上能力 200t 吊	⑦	最大吊上能力 360t 吊	⑧	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
バックージョード	CB224980	施工単位	t																																																																																												
施工区分	入 力 条 件																																																																																														
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																										
	クレーン	相吊クレーン	相吊クレーン	ラフテレーンクレーン	トラッククレーン																																																																																										
	規格	の有無	規格	賃料補正係数	賃料補正係数																																																																																										
		①有り		①標準 (1.0)	①標準 (1.0)																																																																																										
	(表 4.1)	②無し	(表 4.1)	②標準以外 (実数入力)	②標準以外 (実数入力)																																																																																										
規 格		入力番号																																																																																													
ラフテレーンクレーン	25t 吊	①																																																																																													
排 出 ガ ス 対 策 型	35t 吊	②																																																																																													
油 圧 伸 縮 ジ ブ 型	50t 吊	③																																																																																													
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	100t 吊	④																																																																																													
	120t 吊	⑤																																																																																													
	160t 吊	⑥																																																																																													
	200t 吊	⑦																																																																																													
	360t 吊	⑧																																																																																													
規 格		入力番号																																																																																													
ラフテレーンクレーン	最大吊上能力 25t 吊	①																																																																																													
排 出 ガ ス 対 策 型	最大吊上能力 35t 吊	②																																																																																													
油 圧 伸 縮 ジ ブ 型	最大吊上能力 50t 吊	③																																																																																													
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	最大吊上能力 100t 吊	④																																																																																													
	最大吊上能力 120t 吊	⑤																																																																																													
	最大吊上能力 160t 吊	⑥																																																																																													
	最大吊上能力 200t 吊	⑦																																																																																													
	最大吊上能力 360t 吊	⑧																																																																																													
積算上の注意事項		(控え頁) 10／11																																																																																													